

2022年3月期第2四半期決算説明会

2021年11月26日



日本電設工業株式会社

I . 会社概要	2
II . 2022年3月期第2四半期決算概要	3
III . 部門別概況	10
IV . 2022年3月期業績予想	28
V . 日本電設3ヶ年経営計画2021	34
VI . 配当の推移	40
VII . 新市場区分の選択	41

4本の柱で全国に事業展開

- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から79年
- JR東日本との強固な関係

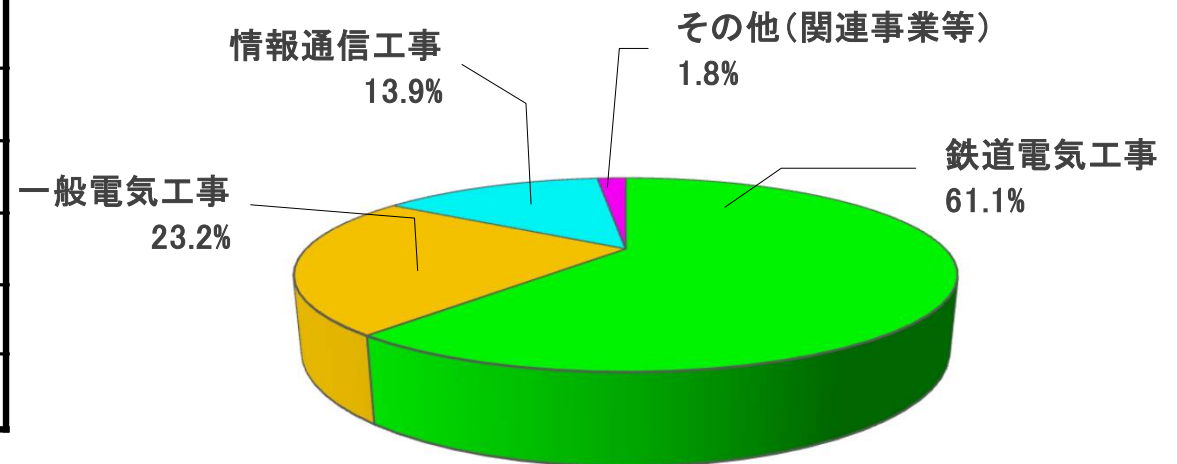
部門別売上高構成額

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2022年3月期 第2四半期売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄道電気工事	38,886	30,864
一般電気工事	14,764	1,091
情報通信工事	8,880	3,127
その他(関連事業等)※	1,152	8
合計	63,683	35,092 (55.1%)

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

部門別売上高構成比率



Ⅱ．2022年3月期第2四半期決算概要



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

NDKグループ

■決算のポイント【会計基準変更前では減収、繰越高は高水準維持】

- ・収益認識会計基準等の適用（以下、会計基準変更）により増収となるも、変更前は減収
- ・下期繰越高は会計基準変更により減少となるも、変更前では高水準を維持

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

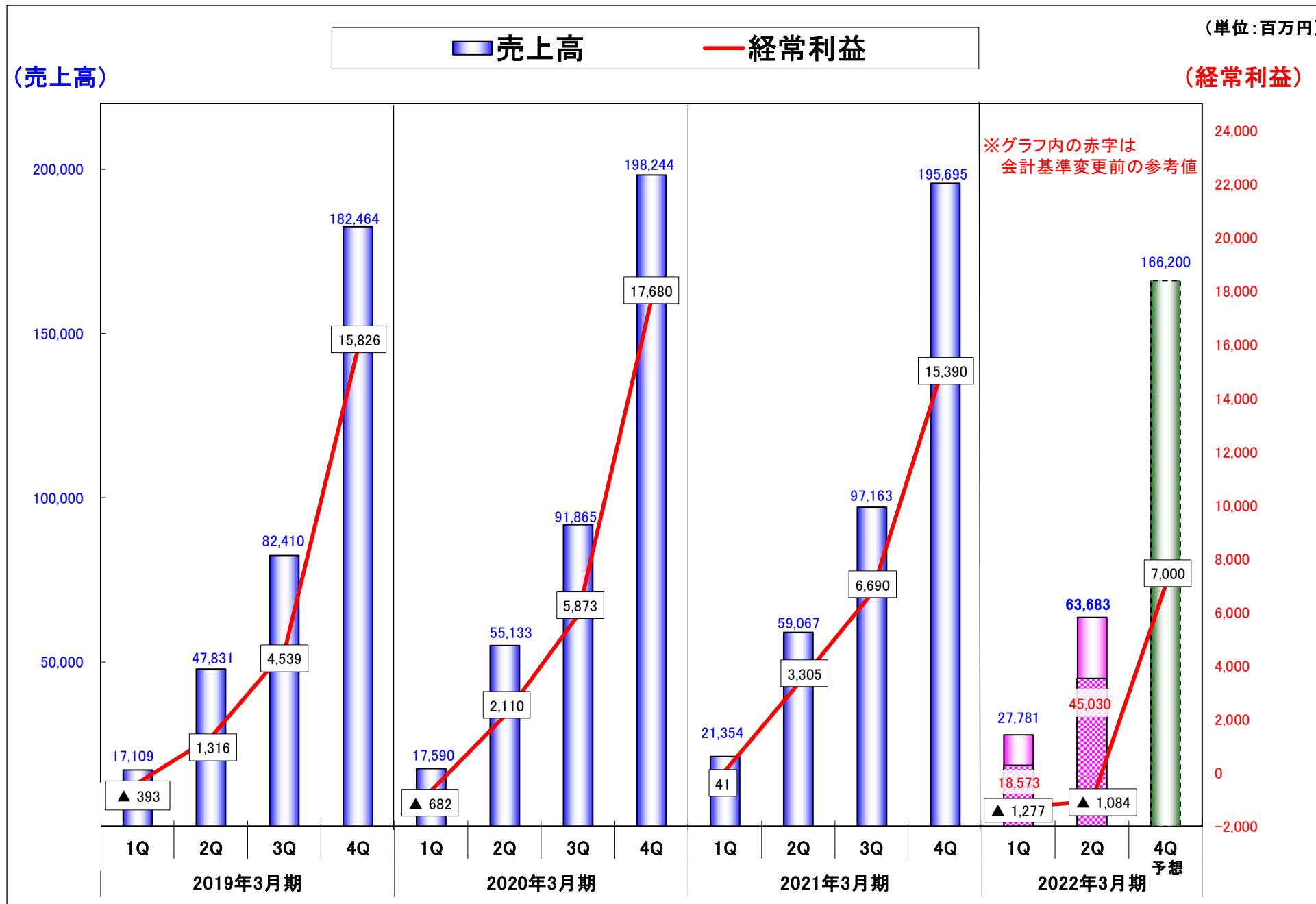
(())は売上高比率、単位：百万円

	2021年3月期第2四半期		2022年3月期第2四半期		前年同期比	
受注高		81,897		71,576	▲12.6%	▲10,321
売上高		59,067		63,683	7.8%	4,615
		—		45,030	▲23.8%	▲14,036
売上原価	(84.5%)	49,897	(92.3%)	58,772	17.8%	8,875
		—		40,120	▲19.6%	▲9,776
売上総利益	(15.5%)	9,170	(7.7%)	4,910	▲46.5%	▲4,260
		—	(10.9%)	—		—
販売費及び一般管理費	(10.9%)	6,445	(10.1%)	6,449	0.1%	4
営業利益又は営業損失	(4.6%)	2,724	(▲2.4%)	▲1,539	—	▲4,264
営業外損益	(1.0%)	581	(0.7%)	454	▲21.8%	▲126
経常利益又は経常損失	(5.6%)	3,305	(▲1.7%)	▲1,084	—	▲4,390
特別損益	(0.0%)	2	(▲0.1%)	▲37	—	▲40
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	(3.2%)	1,915	(▲1.7%)	▲1,077	—	▲2,993
下期繰越高		199,489		152,836	▲23.4%	▲46,652
		—		199,727	0.1%	238

季節的変動の大きい業績動向



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ



第4四半期の売上高集中は会計基準変更後も同様

2022年3月期第2四半期実績



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

受注高

対前期比
▲103億円

売上高

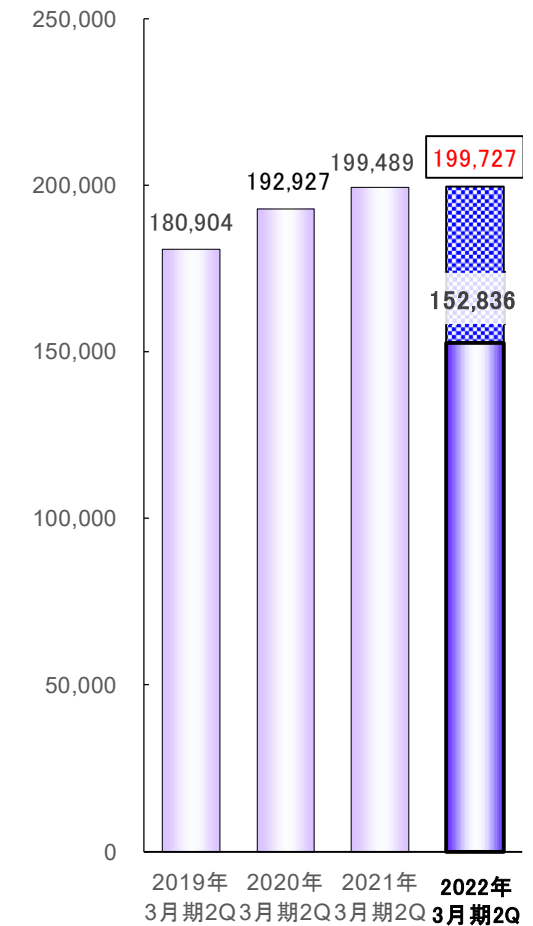
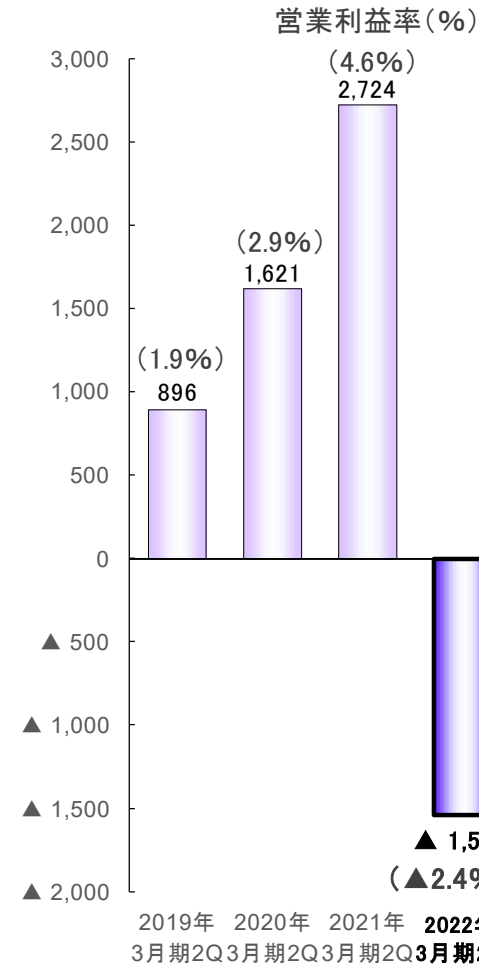
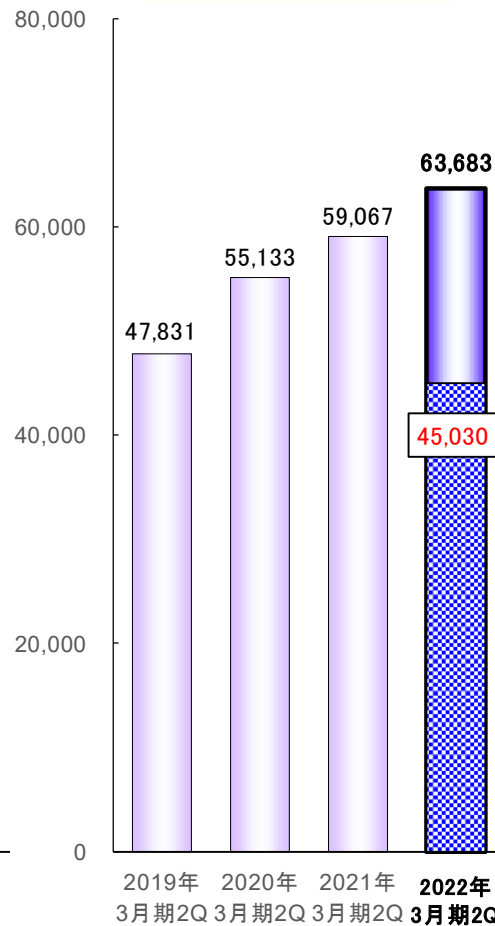
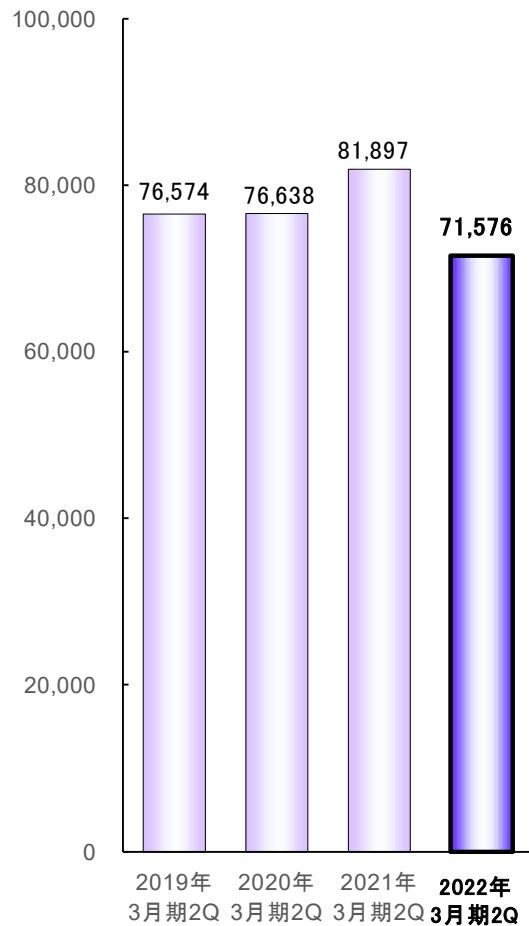
対前期比
+46億円
▲140億円

営業利益

対前期比
▲43億円

下期繰越高

対前期比
▲467億円
+2億円



会計基準変更前の売上高は前期に大型工事の完成が集中したことによる反動や顧客の工事抑制により減少、下期繰越高は高水準を維持

鉄道電気工事の実績



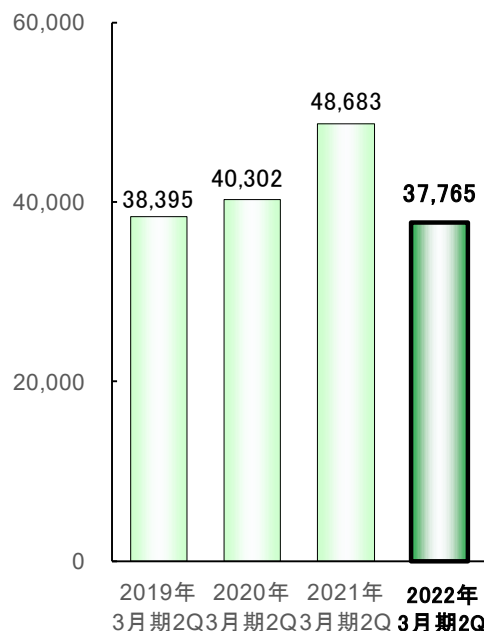
2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位: 百万円)

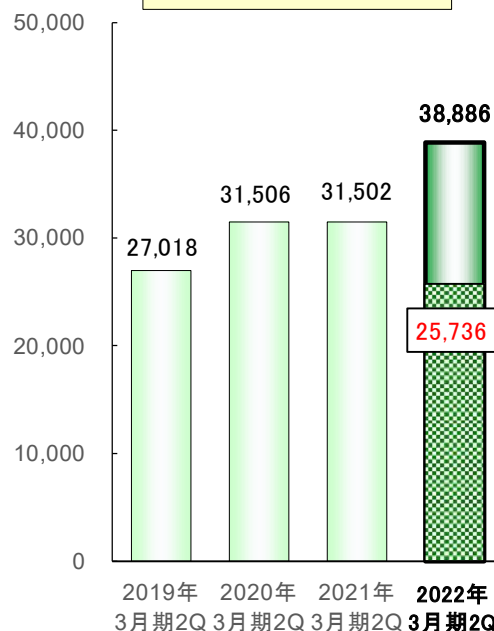
受注高

対前期比
▲109億円



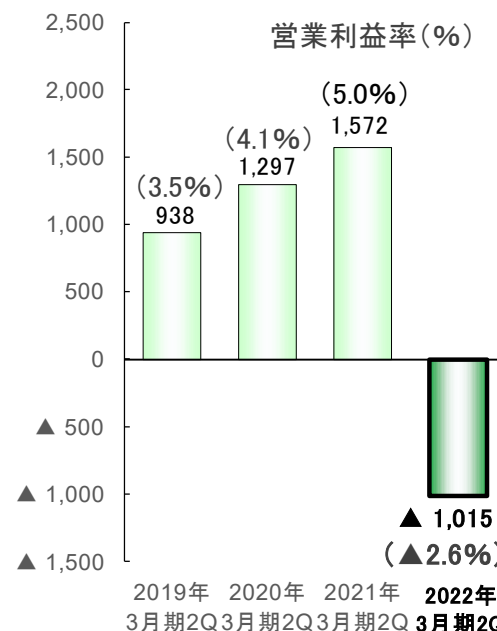
売上高

対前期比
+74億円
▲58億円



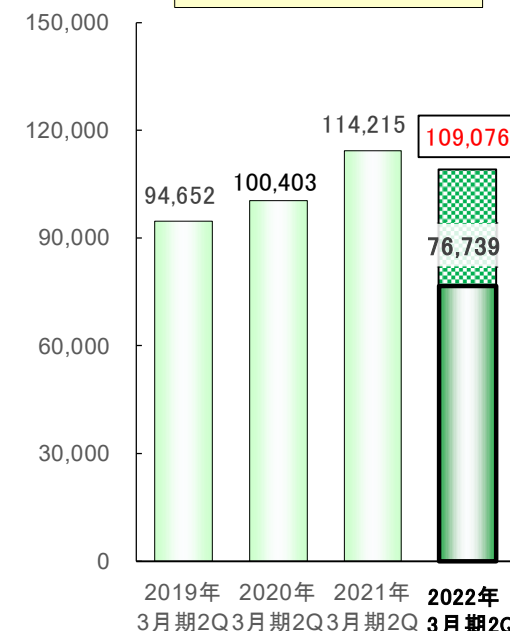
営業利益

対前期比
▲26億円



下期繰越高

対前期比
▲375億円
▲51億円



■決算のポイント

- ・受注高は北陸新幹線工事の反動および鉄道事業者の工事抑制等により減少
- ・売上高は会計基準変更により増加となるも、変更前は工事抑制等により減少
- ・営業利益は連結子会社を含む工事採算性の低下等により減少
- ・下期繰越高は会計基準変更により減少となるも、変更前は高水準を維持

一般電気工事の実績



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位: 百万円)

受注高

対前期比
+11億円

売上高

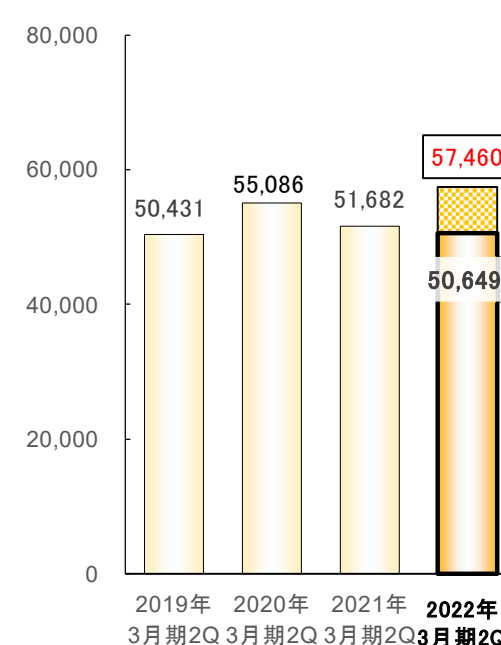
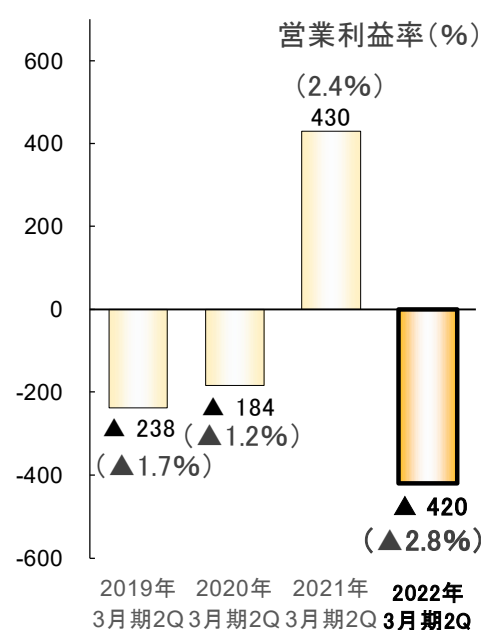
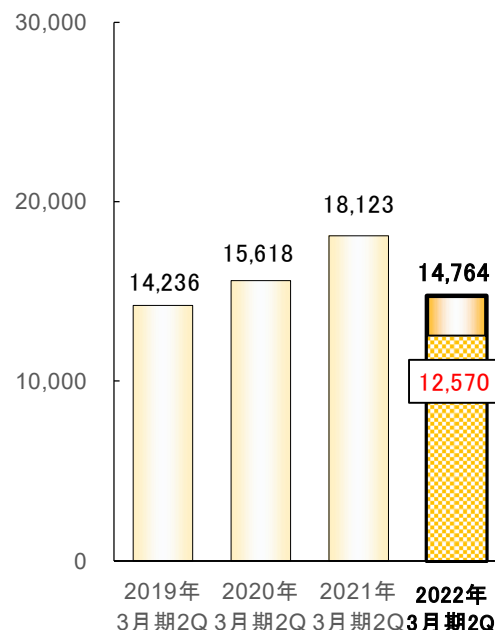
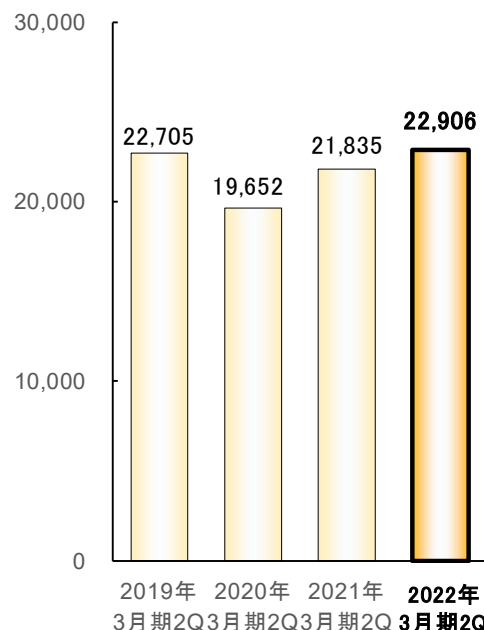
対前期比
▲34億円
▲56億円

営業利益

対前期比
▲9億円

下期繰越高

対前期比
▲10億円
+58億円



■決算のポイント

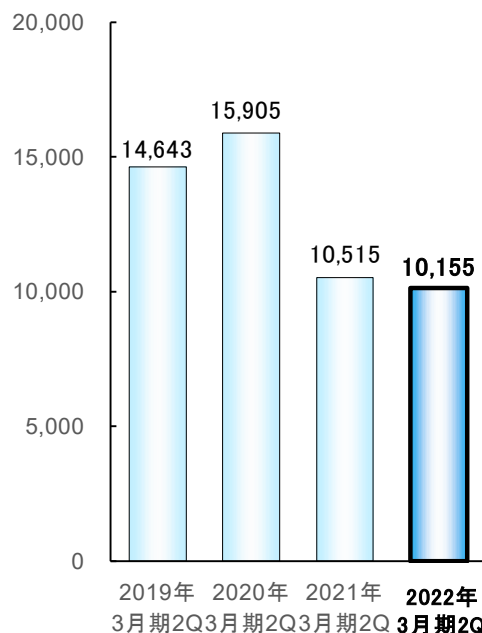
- ・受注高は大型案件や官公庁工事を受注したことなどにより増加
- ・売上高は前期に大型工事の完成が集中したことの反動等により減少
- ・営業利益は価格競争等による工事採算性の低下により減少
- ・下期繰越高は好調な受注を背景に高水準を維持

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位: 百万円)

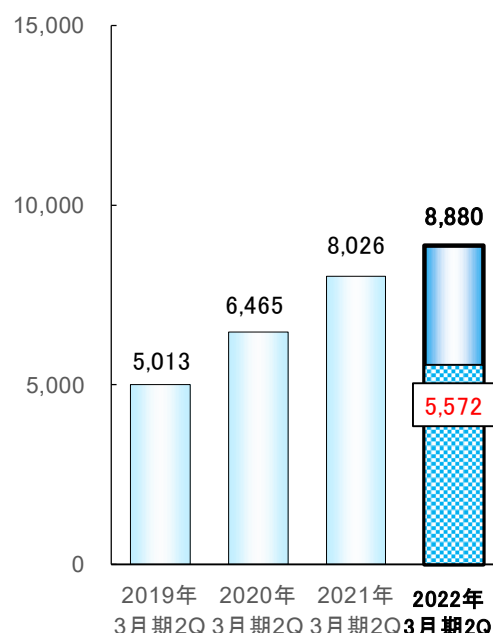
受注高

対前期比
▲4億円



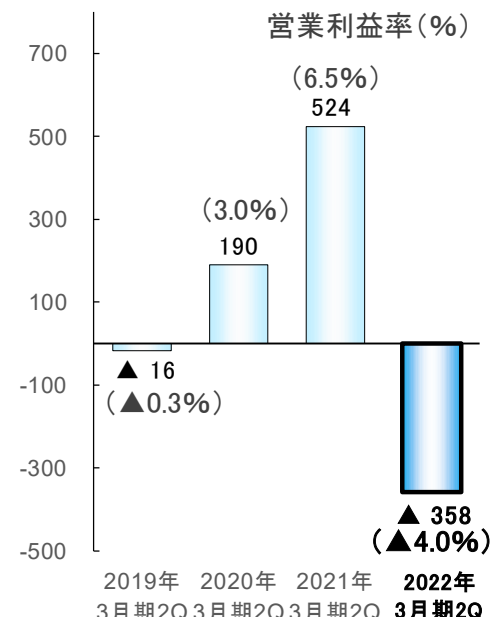
売上高

対前期比
+9億円
▲25億円



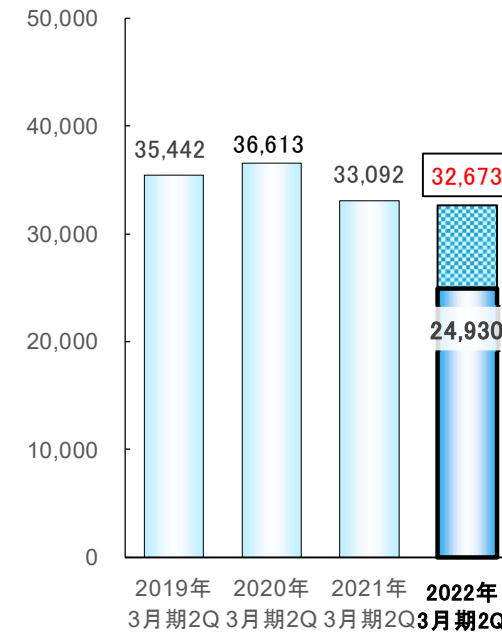
営業利益

対前期比
▲9億円



下期繰越高

対前期比
▲82億円
▲4億円



■決算のポイント

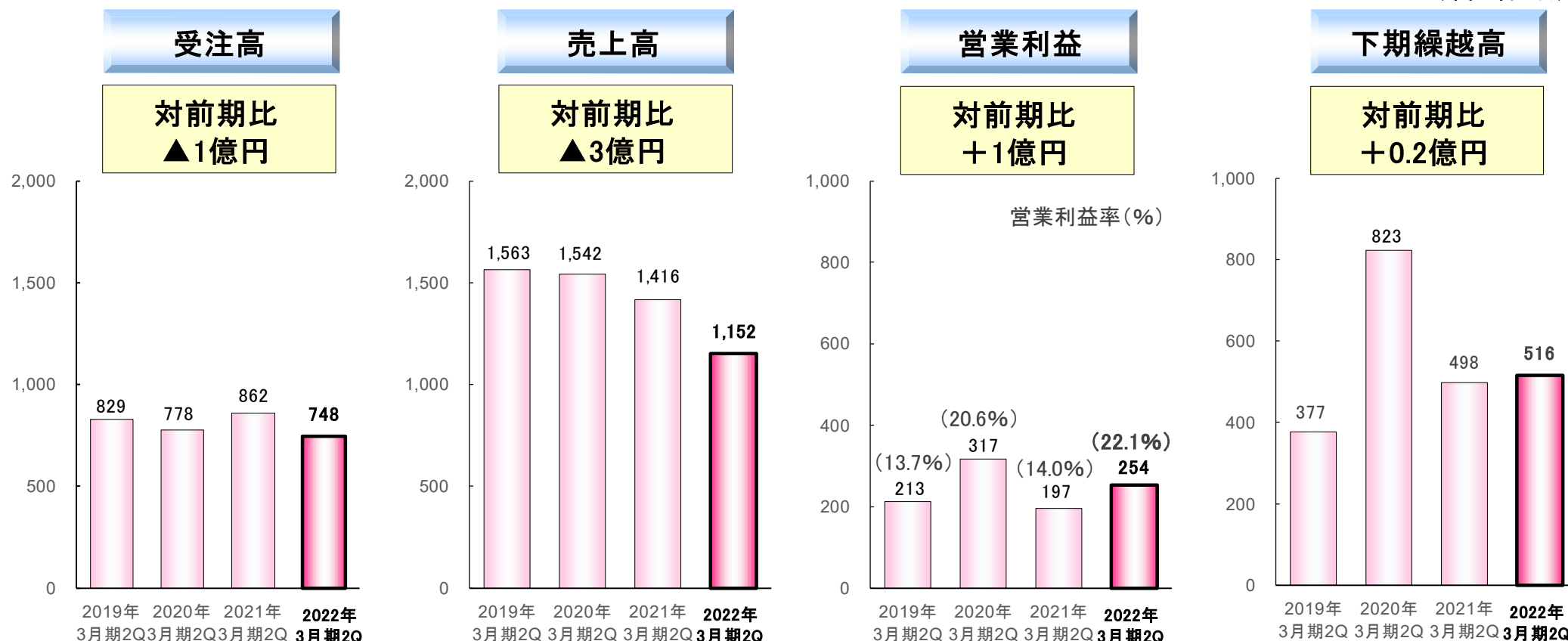
- ・受注高は大型のネットワーク工事を受注したことなどにより前期の水準を維持
- ・売上高は会計基準変更により増加となるも、変更前は不感地対策工事収束の反動等により減少
- ・営業利益は連結子会社を含む工事採算性の低下等により減少
- ・下期繰越高は会計基準変更により減少となるも、変更前は高水準を維持

その他(関連事業等)の実績



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

(単位: 百万円)



■決算のポイント

・売上高は賃貸ビルのテナント退去および大型工事の調査・設計受託減により減少

注:「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

● 主な受注・施工実績

■ JR東日本
■ JR東日本を除くJR各社
■ 公営鉄道・民営鉄道等

東日本旅客鉄道㈱
2021年度設備検査修繕工事
(東日本電気エンジニアリング㈱)

札幌市交通局
地下鉄東西線剛体電車線張替工事

北海道旅客鉄道㈱
北海道新幹線長万部駅支障移転

北海道旅客鉄道㈱
奥津軽いまべつ・湯の里知内間トロッコ線取替

東日本旅客鉄道㈱
山形新幹線福島駅上りアプローチ線新設
電力・信号設備改良支障移転工事

阿武隈急行㈱
信号ケーブル更新工事

東日本旅客鉄道㈱
新潟駅全面高架化工事

北越急行㈱
美佐島・しんざ間ほか1区間支持がいし更新

長良川鉄道㈱
富野踏切ケーブル取替その他工事

しなの鉄道㈱
信濃追分・御代田間
支持物建替その他工事

広島高速交通㈱
広島新交通1号線
転てつ機更新

東日本旅客鉄道㈱
上野原・大月外3区間
架空送電線路鉄塔建替他

名古屋市交通局
御器所変電所の更新に伴う
き電線等張替工事

西日本旅客鉄道㈱
米原駅(西部)連動装置取替他工事

四国旅客鉄道㈱
予讃線松山駅周辺区画整理に伴う電気設備工事

とさでん交通㈱
国道33号高知西バイパス鉄道関連工事

大阪市高速電気軌道㈱
1・3号線電力設備取替工事

熊本市交通局
辛島町電停付近電車線移設工事

鹿児島市交通局
谷山線電車線柱建替工事(その3)

福岡市交通局
七隈線電線路設備工事
(天神南・博多間)

九州旅客鉄道㈱
佐世保線複線化に伴う肥前山口
き電区分所改良工事その5

(独)鉄道・運輸機構
九州新幹線(西九州)
電車線路設備・電力設備新設工事

西日本旅客鉄道㈱
新下関駅高圧配電盤設備取替

西日本旅客鉄道㈱
山陽新幹線新岩国駅高圧配電盤等取替

西日本旅客鉄道㈱
奈良線新田・城陽間外電気設備新設工事

沖縄都市モノレール㈱
インフラ外電気設備工事

(独)鉄道・運輸機構
北陸新幹線
変電設備・電車線路設備・
電力設備・信号設備新設工事

東日本旅客鉄道㈱
盛岡変電所変電設備新設工事

仙台市交通局
地下鉄南北線カテナリー電車線路
設備等更新工事(富沢車庫)

東日本旅客鉄道㈱
佐倉変電所機器取替

東日本旅客鉄道㈱
京葉線新習志野・海浜幕張間新駅設置工事

東日本旅客鉄道㈱
品川駅車両基地跡地開発地中送電線路新設他

東日本旅客鉄道㈱
青梅駅グリーン車導入信号設備改良他

東日本旅客鉄道㈱
品川駅中央新幹線信号設備支障改修工事

東日本旅客鉄道㈱
新宿駅中央盛土配電線路新設他

東京都交通局
大江戸線光が丘変電所変電設備更新工事

東京地下鉄㈱
半蔵門線大手町駅照明設備改良工事

埼玉高速鉄道㈱
令和3年度 電気設備保守管理業務

東日本旅客鉄道㈱
高崎線籠原・深谷間外支持物改良

横浜市交通局
片倉変電所機器更新工事

(独)鉄道・運輸機構
相鉄・東急直通線 羽沢横浜国大～新横浜間 電力設備新設
羽沢横浜国大～日吉間 信号設備新設

●駅改良工事

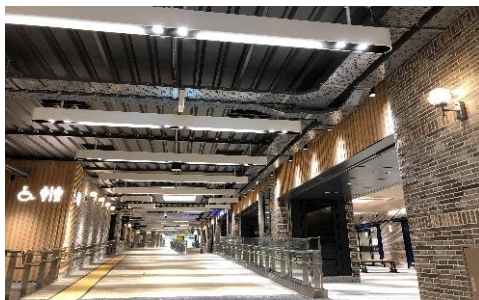
混雑緩和を目的としたコンコース拡幅などの駅サービス機能の強化や省エネ対応に伴う照明設備のLED化等の改良工事を行っており、当社は電気工事を担当している。



東京駅北通路



新宿駅東西自由通路



横浜駅南改札内通路



有楽町駅



御茶ノ水駅聖橋口(仮設)



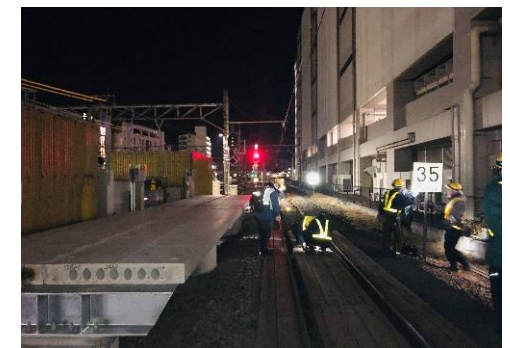
千駄ヶ谷駅

●中央快速線等へのグリーン車サービス開始に向けて

サービス開始に向け、駅や信号設備等の改修が行われており、当社も信号改良工事を始めとして各種工事を施工中。今後もさらなる受注に向けて営業活動を行っていく。



国立駅



立川駅

●鉄道電気設備の老朽化対策

鉄道電気設備の経年劣化に伴う、電力設備や信号設備の改修等を担当している。

既存設備の改修工事に加え、耐震化や長寿命化、メンテナンスの省力化を見据えた大規模改修、システム更新工事などの需要も高まってきており、プロジェクトへの参画を通じて鉄道の安全・安定輸送の確保に貢献していく。



電車線路改良



変電所機器取替



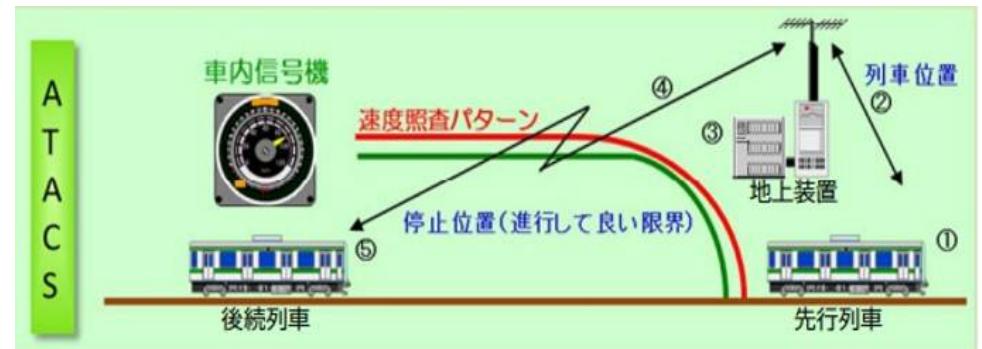
送電線張替



信号設備改良

●無線式列車制御システム(ATACS)

当社の施工により仙石線および埼京線に導入されたATACSは、走行する列車自らが在線する位置を検知し、無線を使って車上・地上間で双方向に情報通信を行うことにより列車を制御する全く新しいシステム。今後も継続的に情報収集を行っていく。



東日本旅客鉄道㈱プレス資料より



ATACSが導入された埼京線

●新幹線高速化に向けた架線改良 *NEW*



●新幹線電化柱耐震補強 *NEW*



●インテグレート架線(第6期)



●京葉線新習志野・海浜幕張間新駅設置



新駅設置予定地

●公民鉄工事

受注拡大に向けて全国の公民鉄事業者から工事計画の情報収集等を行う。

上半期は変電所設備更新（東京都交通局、横浜市交通局、東武鉄道）や沖縄都市モノレール3両化に伴う大型工事等を受注している。

受注・売上高実績

（単位：億円）

		2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
受注高	第2 四半期	49	50	64	93
	通 期	91	98	103	140
売上高	第2 四半期	12	29	15	33 (16)
	通 期	82	95	100	110 (110)

（整備新幹線工事を除く）

※ 売上高の（ ）内は会計基準変更前の参考値
2022年3月期の通期は計画値



東武鉄道 変電所更新改良 **NEW**



沖縄都市モノレール インフラ外電気設備工事 **NEW**

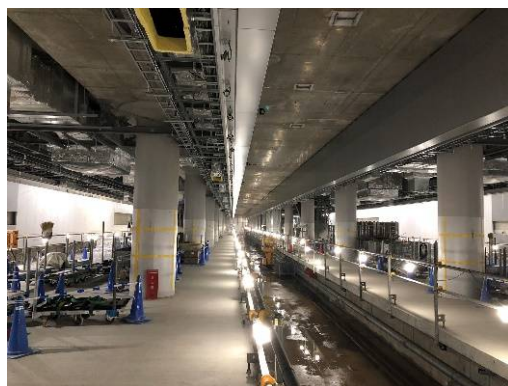
沖縄都市モノレール（株）ホームページより

●相鉄・東急直通線

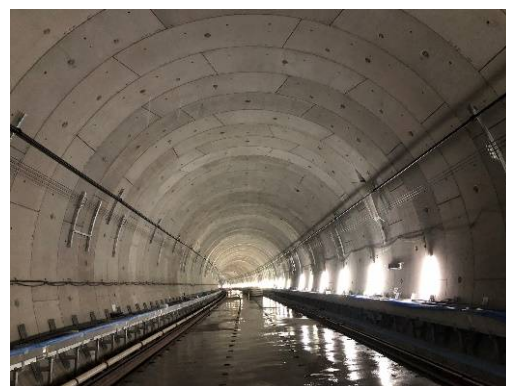
(独)鉄道・運輸機構から発注された相鉄・東急直通線の電灯電力、信号、通信設備工事を受注している。



相模鉄道㈱プレス資料より



新横浜駅ホームの様子



羽沢トンネル内部の様子

今後の予定

・2022年度 下期開業予定

●宇都宮市・芳賀町LRT整備事業

2021年10月に宇都宮市から発注された電車線路工事を2件受注している。

※LRTは、ライト・レール・トランジットの略で交通渋滞の緩和、環境や高齢化問題などの解消を図るために導入が進められている新しい都市交通システムです。



宇都宮市ホームページより



今泉変電所(2019年9月完成)



LRT導入イメージ

宇都宮市ホームページより

今後の予定

・2023年3月 優先整備区間開業予定

●東急電鉄

目黒線輸送力増強に伴う施設改修



●京成電鉄

押上線(四ツ木駅～青砥駅)連続立体交差事業

NEW



●西武鉄道

西武新宿～高田馬場間電柱建替 NEW



●首都圏新都市鉄道

8両編成化に伴う改良



●整備新幹線延伸計画

九州新幹線の電車線路、電力、通信設備および北陸新幹線の変電、電車線路、電力、信号、通信設備の工事を受注している。

受注・売上高実績

(単位: 億円)

		2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
受注高	第2 四半期	—	13	31	0.3
	通 期	24	72	34	0.3
売上高	第2 四半期	—	0.2	7	19 (15)
	通 期	—	2	32	52 (52)

※ 売上高の()内は会計基準変更前の参考値
2022年3月期の通期は計画値

今後の予定

- ・九州新幹線 2022年度秋頃 開業予定
- ・北陸新幹線 2023年度末 完成予定



九州新幹線(西九州ルート) 施工中の様子



北陸新幹線 施工中の様子

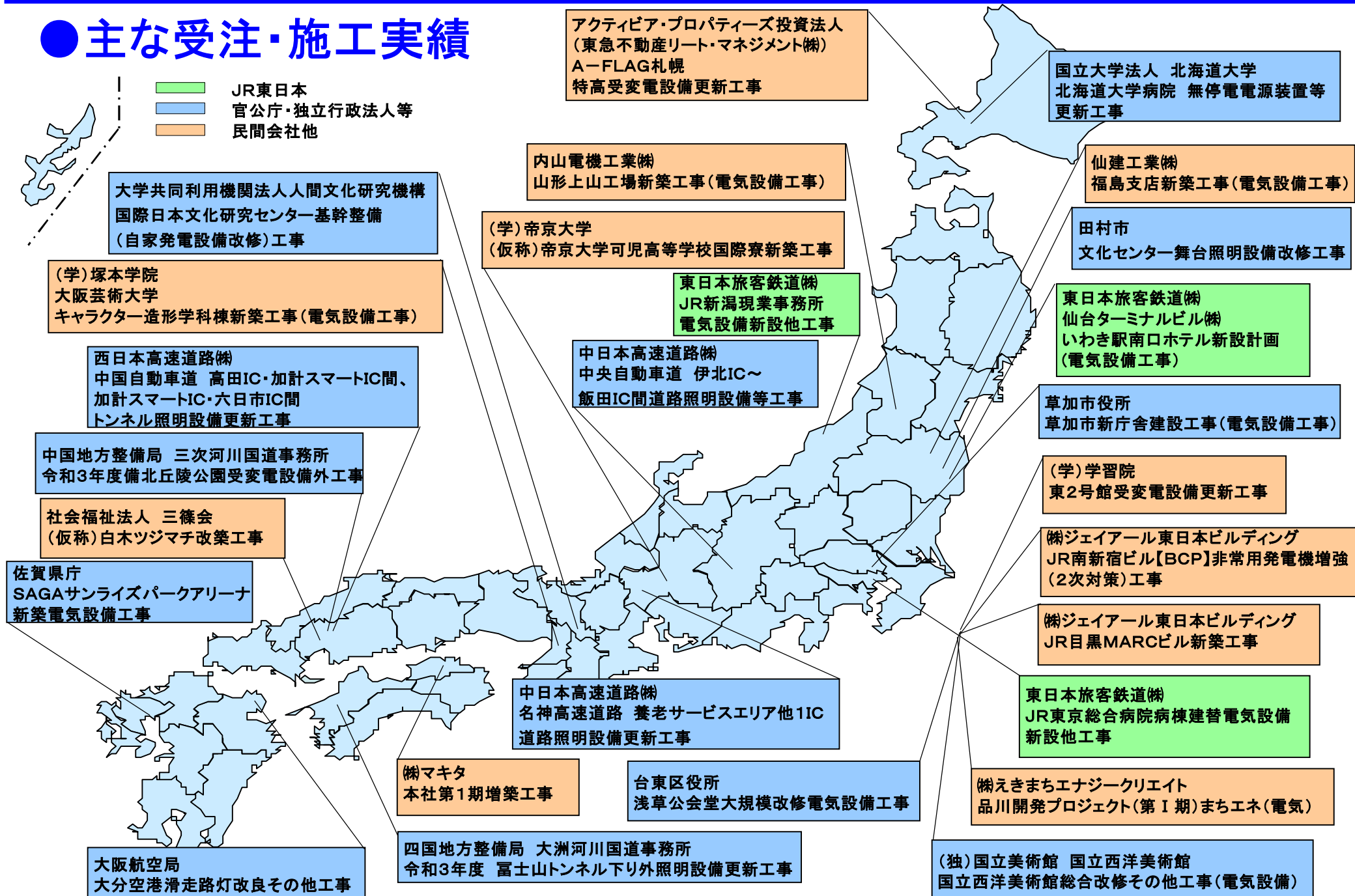
一般電気工事の概況



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

NDKグループ

●主な受注・施工実績



●主なプロジェクト工事(民間)

【JR東京総合病院病棟建替電気設備新設他工事】**NEW** 【品川開発プロジェクト(第Ⅰ期)まちエネ(電気)】**NEW**



2025年春頃 完成予定

東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

【JR目黒MARCBビル新築工事】



2022年3月 完成予定

画像提供: ㈱ジェイアール東日本ビルディング



2025年春頃 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

【いわき駅南口ホテル新設計画(電気設備工事)】



2022年冬頃 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

●主なプロジェクト工事(官公庁)

【国立西洋美術館総合改修その他工事(電気設備)】 **NEW** 【田村市文化センター舞台照明設備改修工事】 **NEW**



2021年11月 完成予定

画像提供: (独)国立美術館 国立西洋美術館



2022年2月 完成予定

田村市ホームページより

【大分空港滑走路灯改良その他工事】 **NEW**



2022年3月 完成予定

別府港湾・空港整備事務所ホームページより

【中国自動車道 高田IC・加計スマートIC間、
加計スマートIC・六日市IC間トンネル照明設備更新工事】

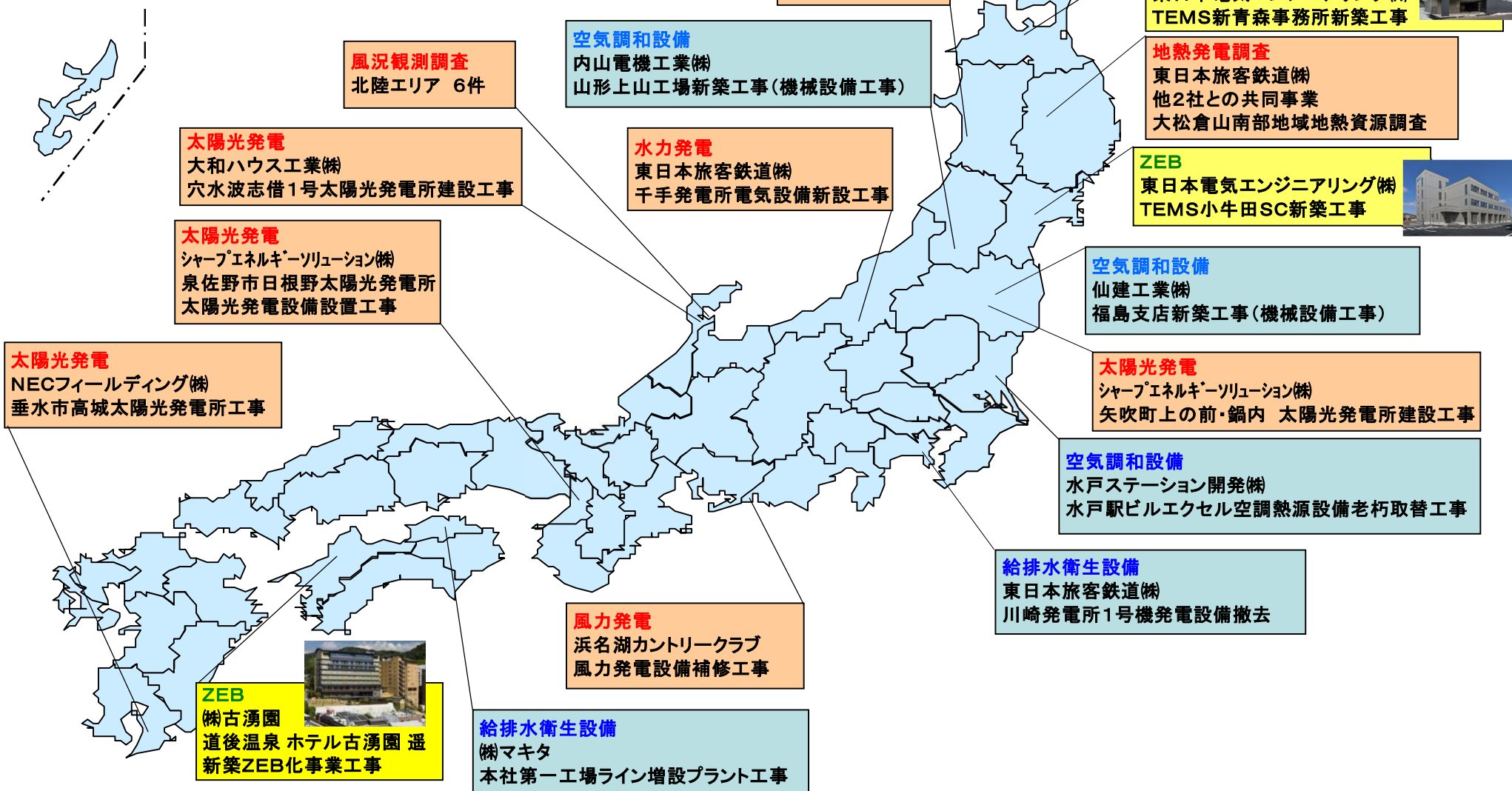


2021年12月 完成予定

高田IC～加計スマートIC間の施工写真

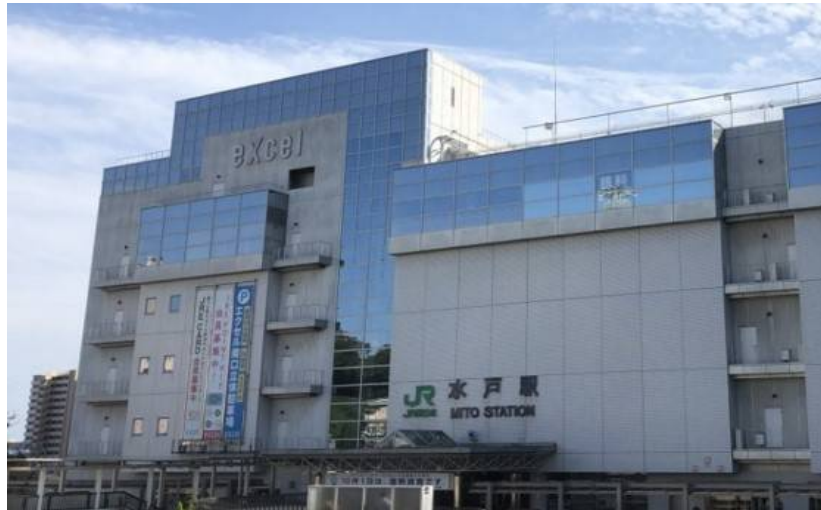
●主な受注・施工実績

- 省エネルギー分野(空調設備、給排水衛生設備)
- 創エネルギー分野(水力発電、火力発電、太陽光発電設備、風力発電等)
- 先進的環境負荷低減分野(ZEB)



省エネルギー分野

【水戸駅ビルエクセル空調熱源設備老朽取替工事】



2022年6月 完成予定

省エネルギー分野

【川崎発電所1号機発電設備撤去】 **NEW**



2027年1月 完成予定

省エネルギー分野

【内山電機工業 山形上山工場新築工事(機械設備工事)】 **NEW**



2022年1月 完成予定

内山電機工業株式会社ホームページより

創エネルギー分野

【千手発電所電気設備新設工事】 **NEW**



2022年10月 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

●ZEB化事業の推進



※『ZEB』(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、
またはマイナスの建築物
Nearly ZEB: 75%以上省エネの建築物
ZEB Ready: 50%以上省エネの建築物

◇ZEBプランナー登録

(2018年2月)

◇ZEBリーディング・オーナー登録

(2020年1月)

◇環境エネルギー本部を発足

(2020年9月)

一般電気工事分野、環境設備分野および創エネルギー分野において、ZEB等で培った総合技術を活かすなど営業の裾野を広げ、更なる受注拡大を図る。

◇ZEBの提案営業を推進

道後温泉 ホテル古湧園 遥(ZEB Ready)

◇ZEB対応の自社ビル

NDK千葉ビル	(Nearly ZEB)
TEMS小牛田SC	(Nearly ZEB)
NDK新潟ビル	(Nearly ZEB)
TEMS新青森事務所	(ZEB Ready)
NDK秋田ビル	(ZEB Ready)
NDK仙台東ビル	(ZEB)

自社ビル等のZEB化で得られた設計や運用の知見を活かし、ZEBの営業活動を推進する。



道後温泉 ホテル古湧園 遥
新築ZEB化事業工事(2019年10月完成)



NDK千葉ビル(2019年11月完成)



TEMS小牛田SC(2020年3月完成 施工のみ)



NDK新潟ビル(2021年2月完成)



TEMS新青森事務所(2021年3月完成)

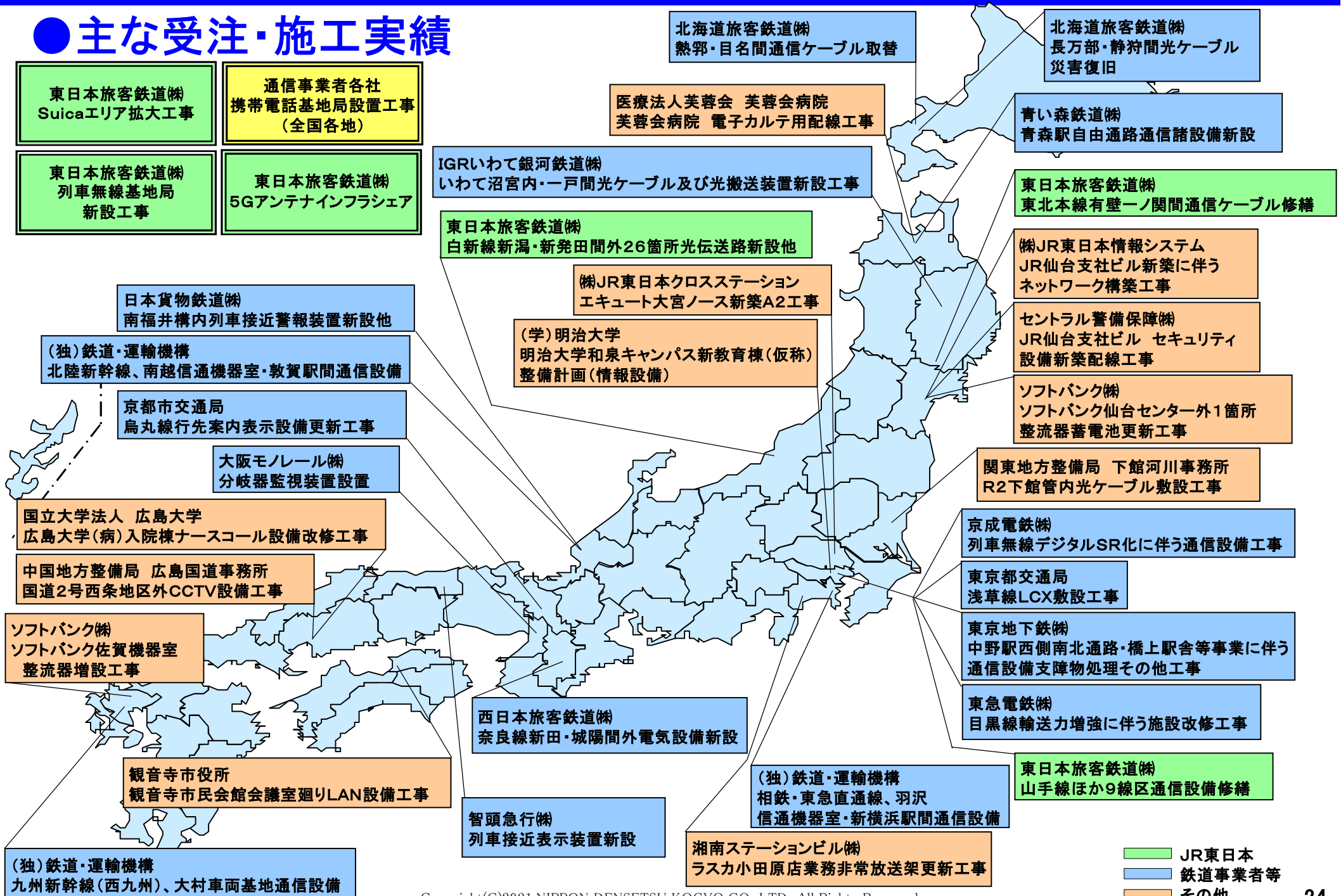


NDK秋田ビル(2021年4月完成)



NDK仙台東ビル(2021年11月完成予定)

●主な受注・施工実績



●5G関連工事の受注獲得

携帯電話各社は、2020年に相次いで5Gの商用サービスを開始し、基地局設置工事などで2024年度までに約1兆7千億円を投資していく。

これまでの全国での施工実績を活かし、施工体制の強化および要員の確保を行い、引き続き受注に向けて努力していく。



●楽天モバイル携帯基地局工事

楽天モバイルは、4Gの基地局数を27,397局から44,000局程度への増加を発表し、人口カバー率96%の年度内達成を目指している。

これまでの全国での5Gを含めた施工実績を活かし、引き続き受注に向けて努力していく。



●5Gアンテナインフラシェア

JR東日本の新事業となる5Gアンテナインフラシェアは、今後鉄道沿線を含めJR東日本グループ資産を最大限に活用し展開する予定としている。(東日本旅客鉄道(株)プレス資料より)

これまでの駅構内での4G/LTE基地局設置工事などの施工実績を活かし、引き続き受注に向けて努力していく。



東日本旅客鉄道(株)プレス資料より



5Gアンテナ

●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で23棟・586戸の賃貸マンションを運営
(入居率94%)



ロータス大和町(宮城県仙台市)
2019年11月完成



ロータス西千葉(千葉県千葉市)
2022年3月完成予定(学生マンション)

NDK第一池之端ビルの
老朽化に伴い建替えを計画
2021年9月末までに全テナント
の退去が完了

NDK第一池之端ビル
(東京都台東区)



賃貸不動産売上高	2021年3月期	2022年3月期
第2四半期	581百万円	549百万円
通期	1,147百万円	1,047百万円(計画)

●新規事業

保有不動産を活用した新たな事業開発

・学生専用賃貸マンション事業の開始(左記参照)

ロータス黒砂台:独身寮をリノベーション

ロータス西千葉:社屋跡地に建設中

販売事業の収益力強化

・開発成果品販売サイトの充実による販売拡大を推進

・共同購買システムでの作業着販売等、エンドユーザー
の利便性および商品の品揃えを拡充させた新たな
調達・販売システムの開発

●電気保安事業の拡大

当社施工物件等のお客様への提案営業の推進
(NDK総合サービス株)



サビアタワー(東京駅日本橋口)
受変電設備点検業務



JR東急目黒ビル
受変電設備点検業務

IV. 2022年3月期業績予想



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

NDKグループ

■業績予想のポイント【コロナ禍による顧客の工事抑制等を考慮】

- ・通期は対前期比受注高・売上高・利益はともに減少となるも、豊富な手持工事を効率的に施工し予想値超えを目指す
- ・次期繰越高は会計基準変更により減少となるも、変更前では高水準を維持

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(())は売上高比率、単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	175,763 —	144,252 172,491	▲17.9% ▲1.9%	▲31,511 ▲3,272
受注高	190,660	166,400	▲12.7%	▲24,260
売上高	195,695	166,200	▲15.1%	▲29,495
売上原価	(85.3%) 166,835	(87.9%) 146,100	▲12.4%	▲20,735
売上総利益	(14.7%) 28,860	(12.1%) 20,100	▲30.4%	▲8,760
販売費及び一般管理費	(7.5%) 14,672	(8.5%) 14,200	▲3.2%	▲472
営業利益	(7.3%) 14,188	(3.5%) 5,900	▲58.4%	▲8,288
営業外損益	(0.6%) 1,202	(0.7%) 1,100	▲8.5%	▲102
経常利益	(7.9%) 15,390	(4.2%) 7,000	▲54.5%	▲8,390
特別損益	(▲0.1%) ▲192	(—%) —	—%	192
親会社株主に帰属する 当期純利益	(4.9%) 9,546	(2.9%) 4,800	▲49.7%	▲4,746
次期繰越高	172,491 —	146,003 174,242	▲15.4% 1.0%	▲26,488 1,751

2022年3月期業績予想



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
▲315億円
▲33億円

受注高

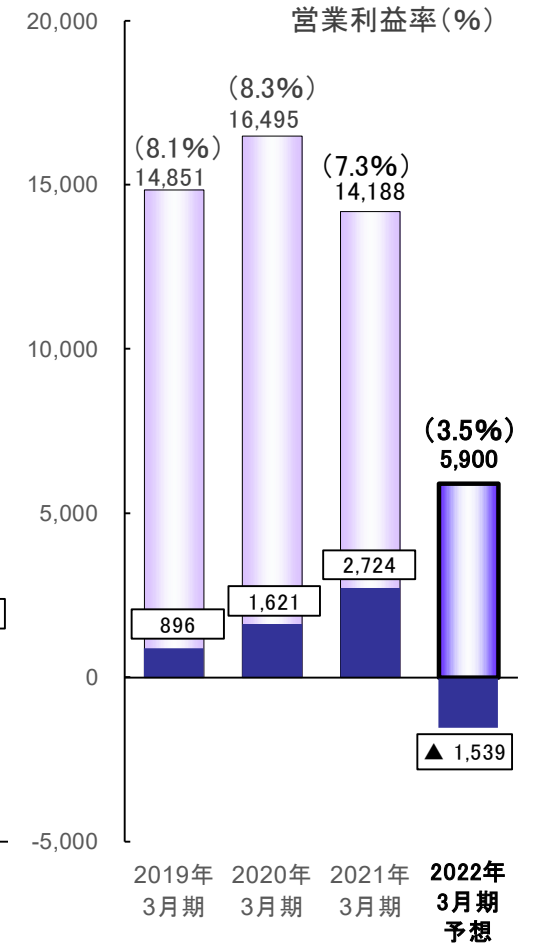
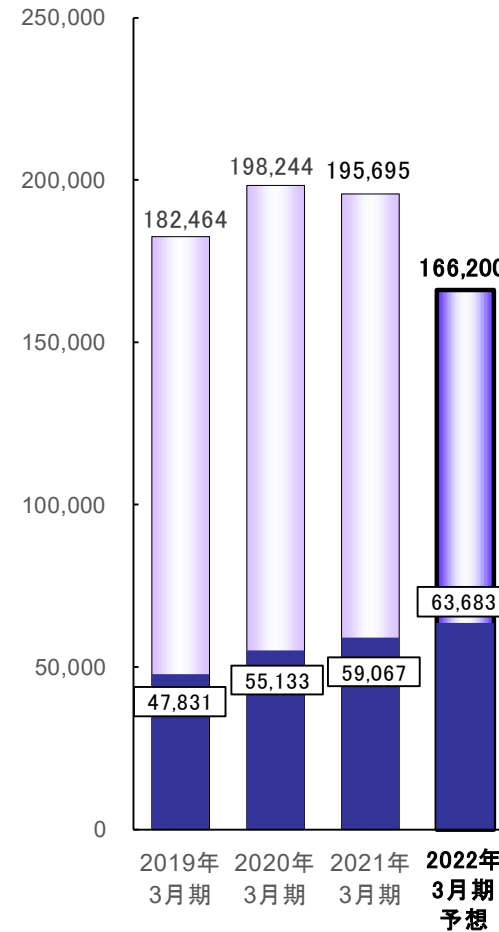
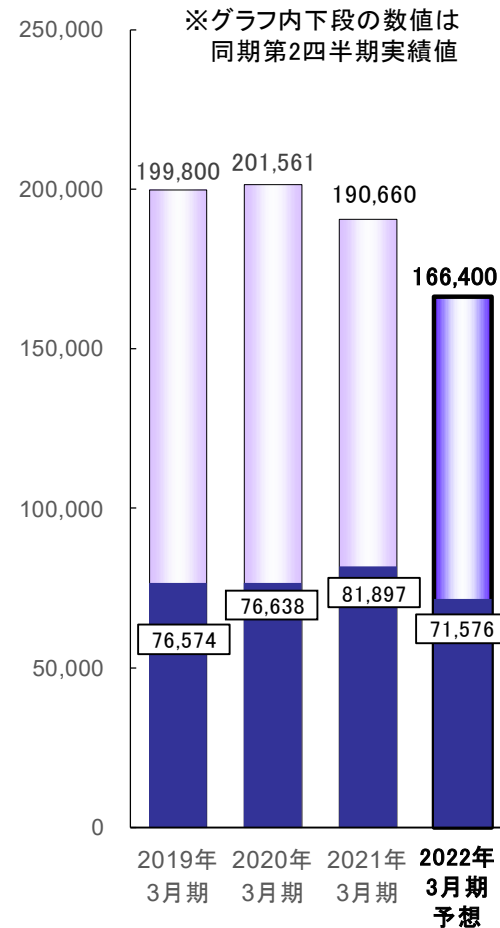
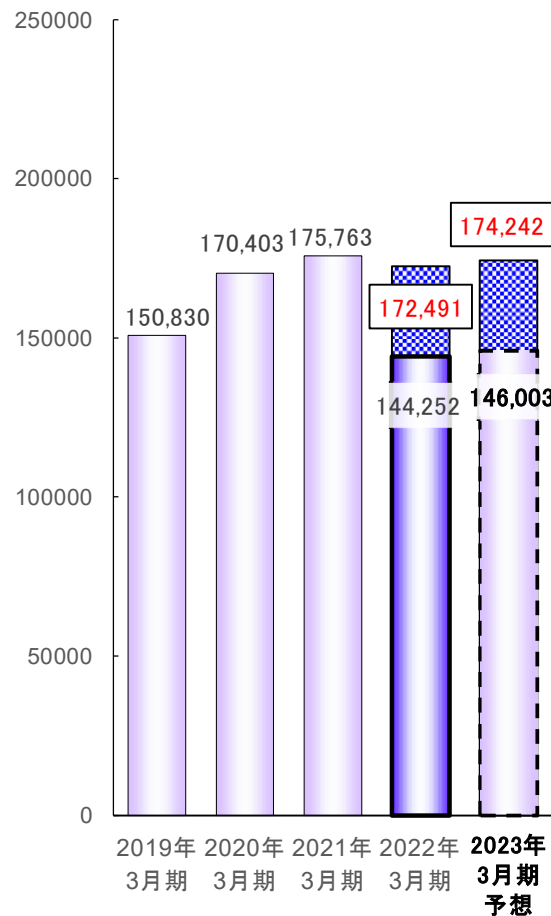
対前期比
▲243億円

売上高

対前期比
▲295億円

営業利益

対前期比
▲83億円



コロナ禍による顧客の工事抑制等を考慮

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
▲192億円
+0.1億円

受注高

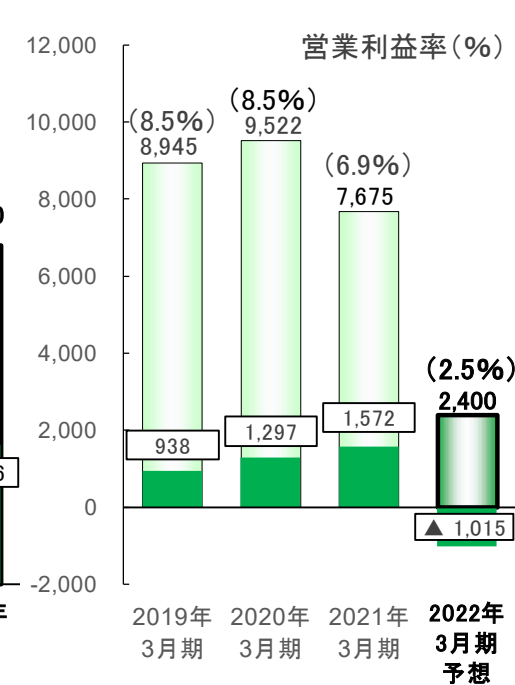
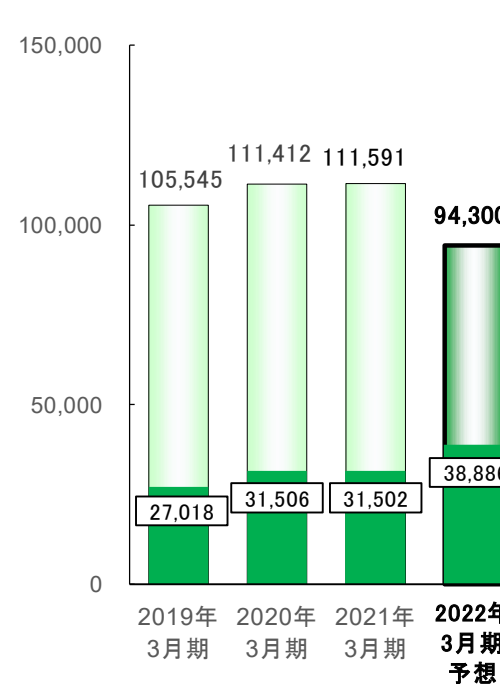
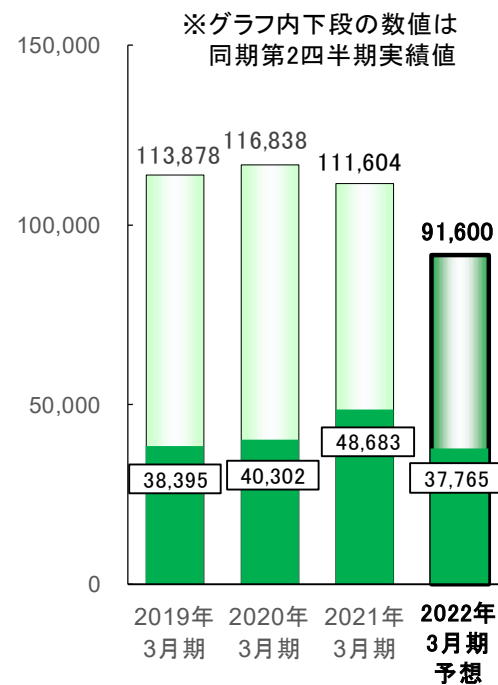
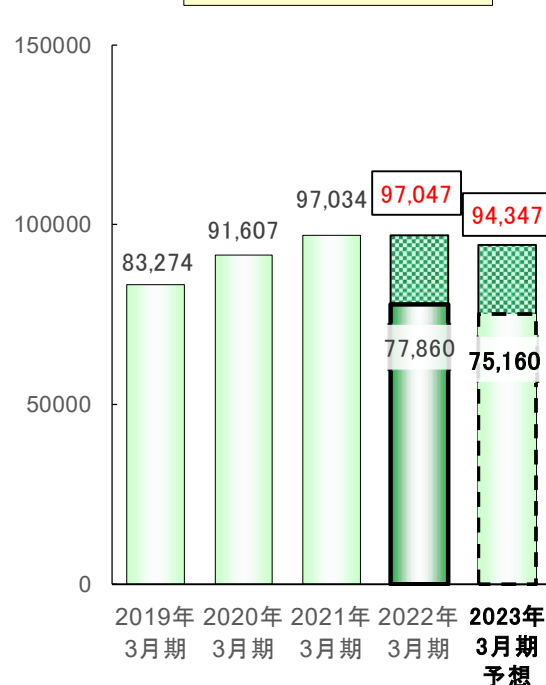
対前期比
▲200億円

売上高

対前期比
▲173億円

営業利益

対前期比
▲53億円



業績予想のポイント

- ・受注高は五輪特需の収束による反動および鉄道事業者の工事抑制により減少
- ・売上高はコロナ禍による発注時期の遅れおよび受注減により減少
- ・営業利益は連結子会社を含む工事採算性の低下および施工体制維持・強化のための原価の負担により減少

一般電気工事の予想



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
▲55億円
▲8億円

受注高

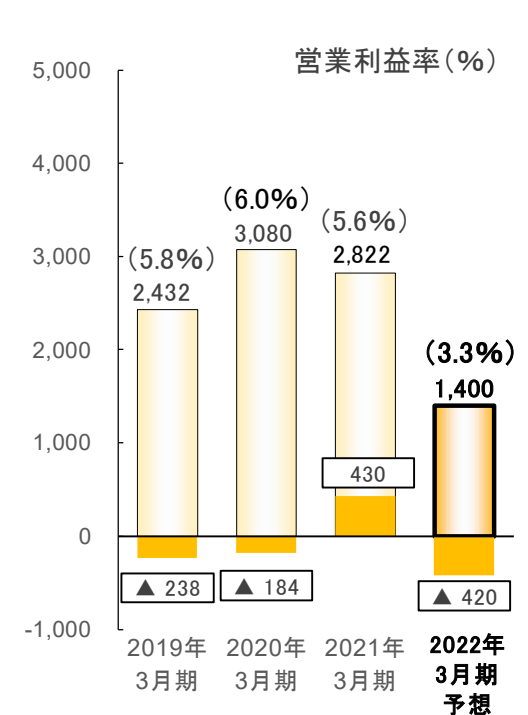
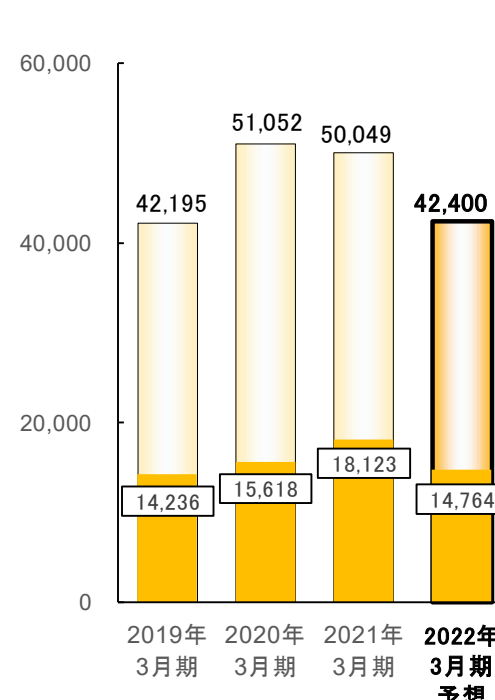
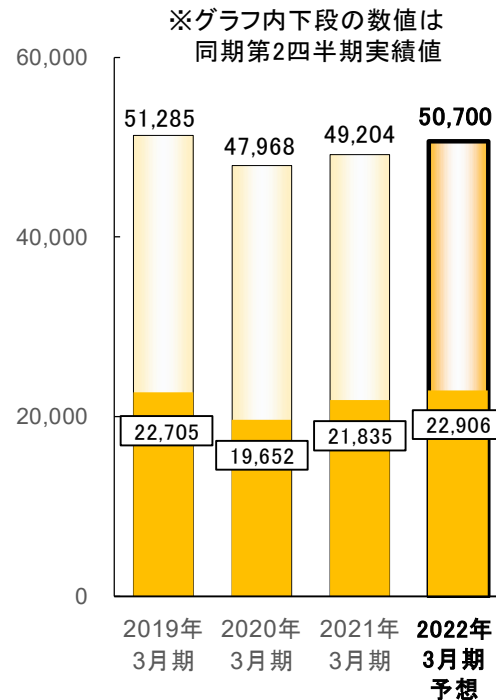
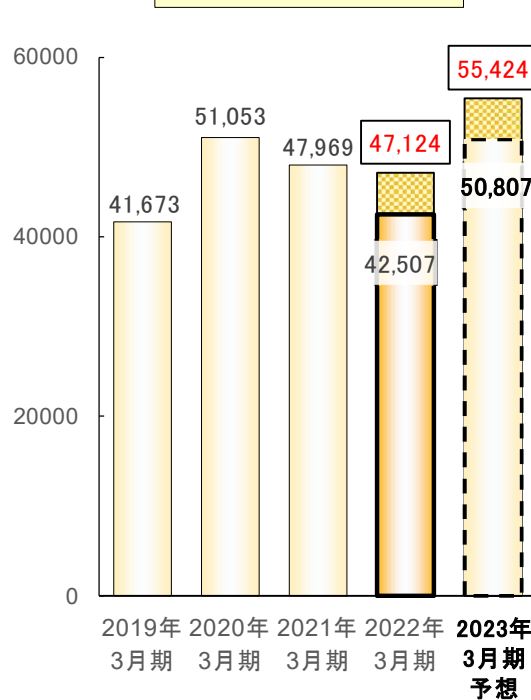
対前期比
+15億円

売上高

対前期比
▲76億円

営業利益

対前期比
▲14億円



業績予想のポイント

- ・受注高は成長投資案件等への積極的な営業展開により増加
- ・売上高は竣工物件が少ない端境期にあたり減少
- ・営業利益は価格競争等による工事採算性の低下により減少

赤字は会計基準変更による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
▲69億円
▲25億円

受注高

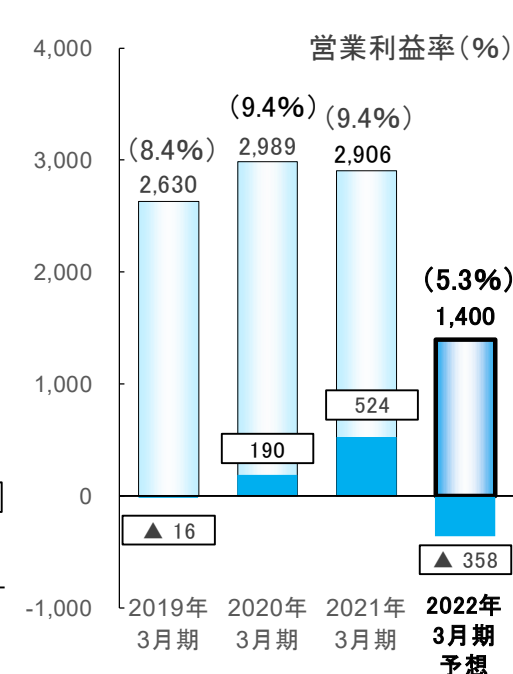
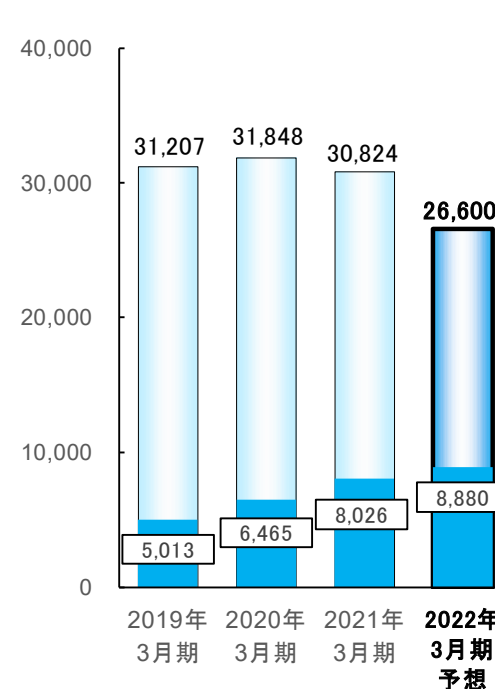
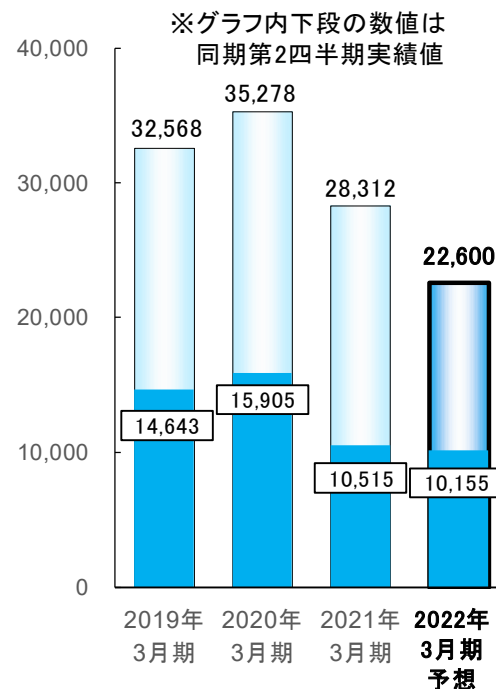
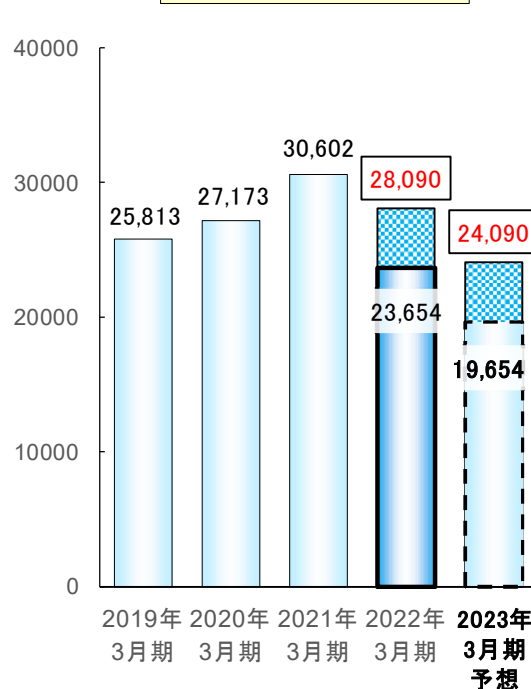
対前期比
▲57億円

売上高

対前期比
▲42億円

営業利益

対前期比
▲15億円



業績予想のポイント

- ・受注高は五輪特需の収束による反動および得意先の工事抑制により減少
- ・売上高は不感地対策工事収束の反動および受注減により減少
- ・営業利益は連結子会社を含む工事採算性の低下および施工体制維持・強化のための原価の負担により減少

その他(関連事業等)の予想

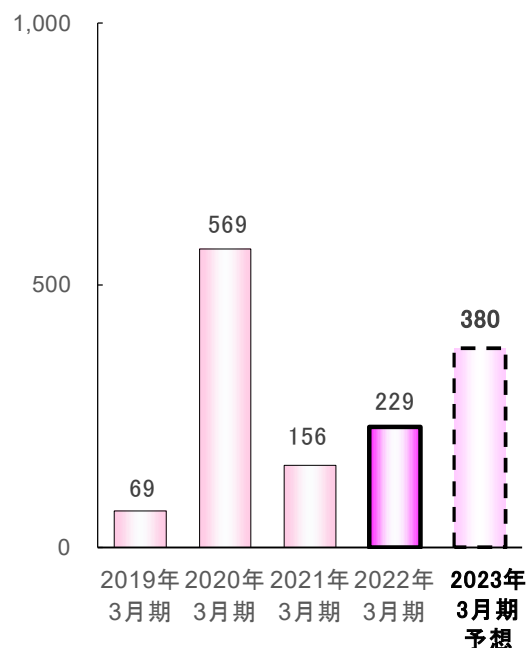


2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

(単位:百万円)

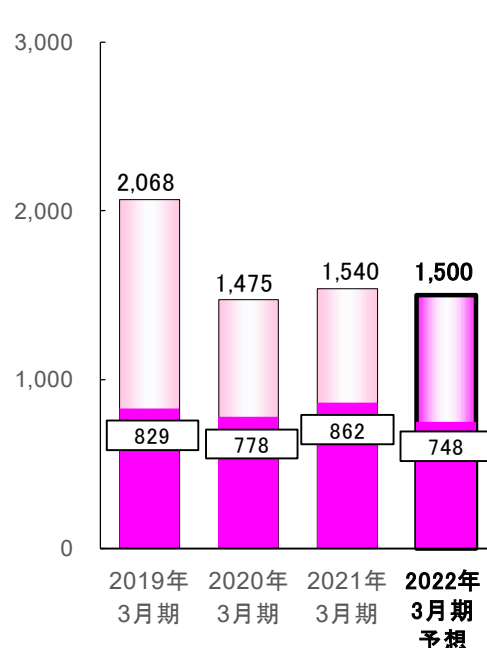
期首繰越高

対前期比
+2億円



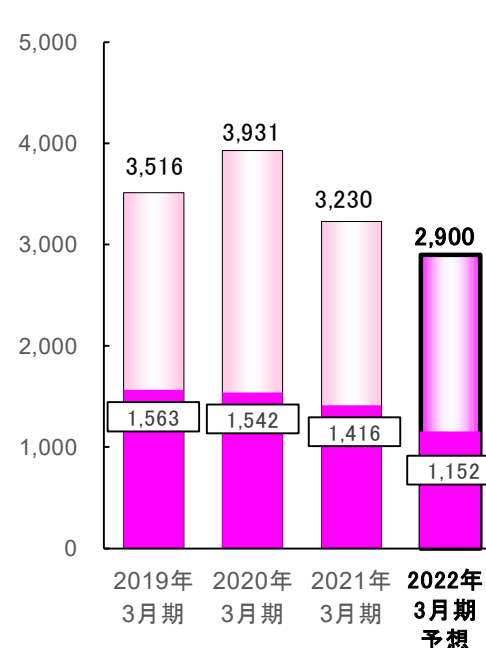
受注高

対前期比
▲0.4億円



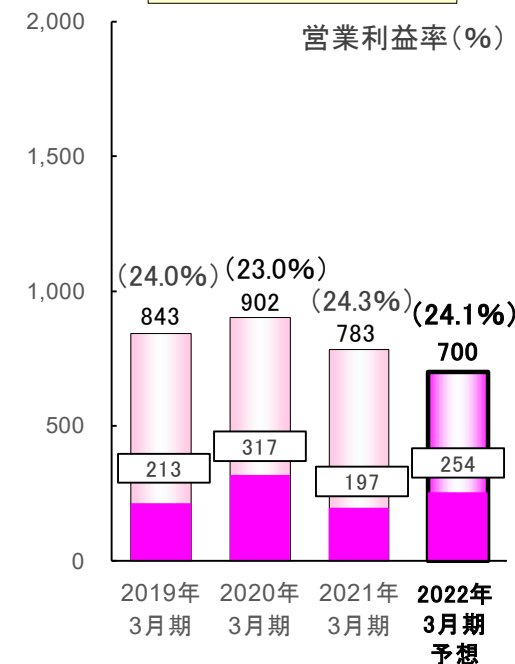
売上高

対前期比
▲3億円



営業利益

対前期比
▲1億円



■業績予想のポイント

・売上高は賃貸ビルのテナント退去および大型工事の調査・設計受託減により減少

注:「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

◇ 数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
受 注 高	166,400	172,000	180,000
売 上 高	166,200	180,700	189,900
営 業 利 益	5,900	10,100	12,400
経 常 利 益	7,000	11,200	13,600
営 業 利 益 率	3.5%	5.6%	6.5%
経 常 利 益 率	4.2%	6.2%	7.2%

※ 2021年4月28日に公表した業績予想は、公表時点で入手している情報により作成したものです。今後の受注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

ニューノーマルに挑む 変革

「安全・品質とコンプライアンス」

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、
コンプライアンスの徹底によりお客さまからの信頼をより高めます。

「人と組織の連携で新たな価値創造」

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めた
NDKのチーム力を高め、新たな価値を創造します。

「自ら考え行動する社員の育成」

社員一人ひとりが気づき力を磨き、
自立的に業務に取り組める人材の育成に注力します。

「働きがいを実感できる職場づくり」

社員一人ひとりが働き易さと働きがいを
実感できる職場づくりを目指します。

安全は会社経営上の最重要課題

◇安全推進の基本方針

- ・安全文化の構築
- ・安全かつ着実な施工管理の実施
- ・安全マネジメントの推進
- ・安全レベルの向上

安全の原点への立ち返り

安全文化の創造

私たちは
命を大切にします

私たちは
技術を磨きます

私たちは
健康で明るい**職場**
明るい**家庭**を築きます

安全文化の創造は「人命の尊さ」「人を大切にする心」を
全ての発想の根源として行動する社風を創っていく取り組みです。

安全推進ポスター



NDK安全文化創造館



VRによる安全教育

技術力・技能の向上、施工体制強化

- ◇社員・協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員育成と資格取得支援
- ◇技術力の底上げと弱点補強強化
- ◇ICTを活用したオンライン教育



中央学園(千葉県柏市)



電車線実習
(軌陸車を150台保有)



資格取得教育

主な取り組み施策(働き方改革)



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

◇生産性向上の取り組み

- ・タブレット端末の活用(図面共有・テレビ会議等)
- ・クラウド共有ファイルサーバの導入
- ・技術開発による施工の効率化
- ・ICT等の先進技術の活用
- ・RPAの活用

◇ワークライフバランスの推進

- ・職場で「女性活躍」や「育休」の啓蒙(ポスター)

◇長時間労働是正・人事諸制度改正

- ・時間外労働の上限規制順守を早期に実現
- ・多様な働き方の実現に向けた制度改正



タブレット端末を活用した図面共有



架空送電工事用ロボットの開発

周りの人と話してみよう

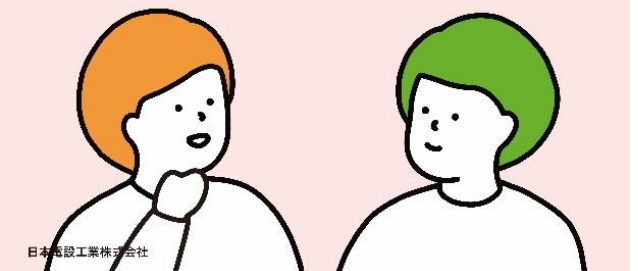
男性と女性の活躍像って違うのかな？

そもそも、活躍って何だろう？

女性の活躍って、女性だけで実現できるのだろうか？

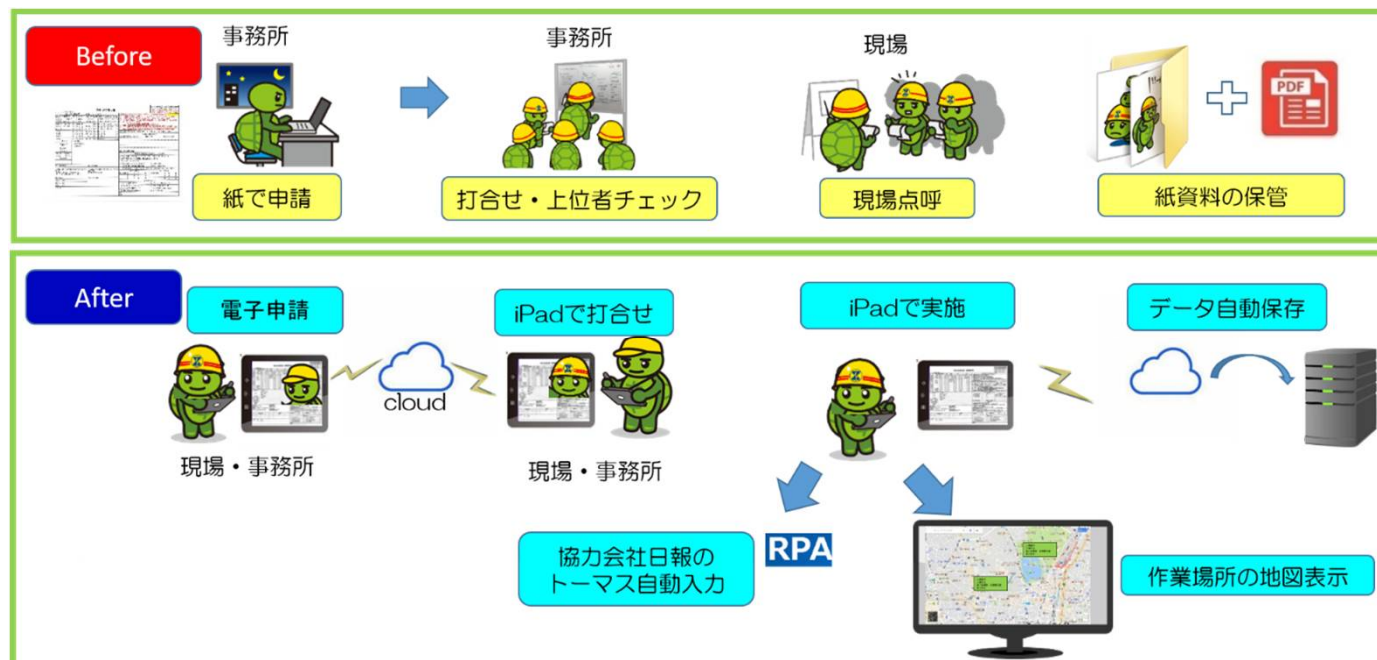
周りが育休を取得したとき、どんな風に感じる？

男性も育休を取らなくて大丈夫？



日本電設工業株式会社

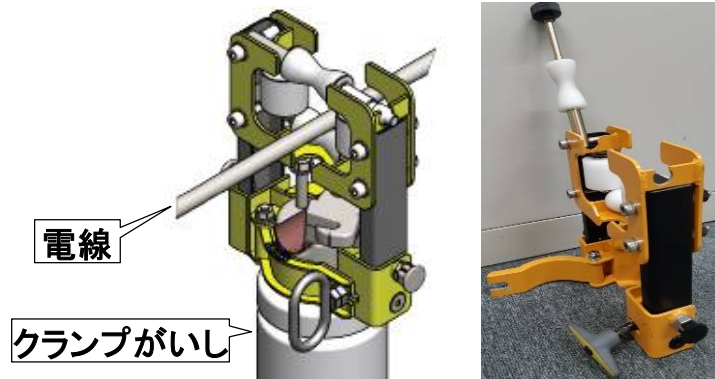
ポスター「周りの人と話してみよう」



工事管理支援システム

【クランプがいし用金車の開発】 JR東日本技術企業 の会優秀賞受賞

鉄道の高圧配電線張替え工事の施工性を向上させるために、電線をクランプがいしに簡単に移し替えることができる金具



【アンカーボルトガイドキャップの開発】

意匠第1676007号

座板付き鉄柱等をアンカーボルトに容易に挿入可能で、安全性と効率性を高めたキャップ
一般の土木工事にも適用可能



【わたり線測定装置の開発】

線路の分岐箇所における架線は、レール中心からの離れを高い精度で張る必要があるため、その正確な位置を容易に計測できる測定器具



測定器具

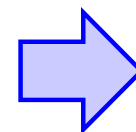
補助器具

【絶縁抵抗測定表自動作成プログラムの開発】

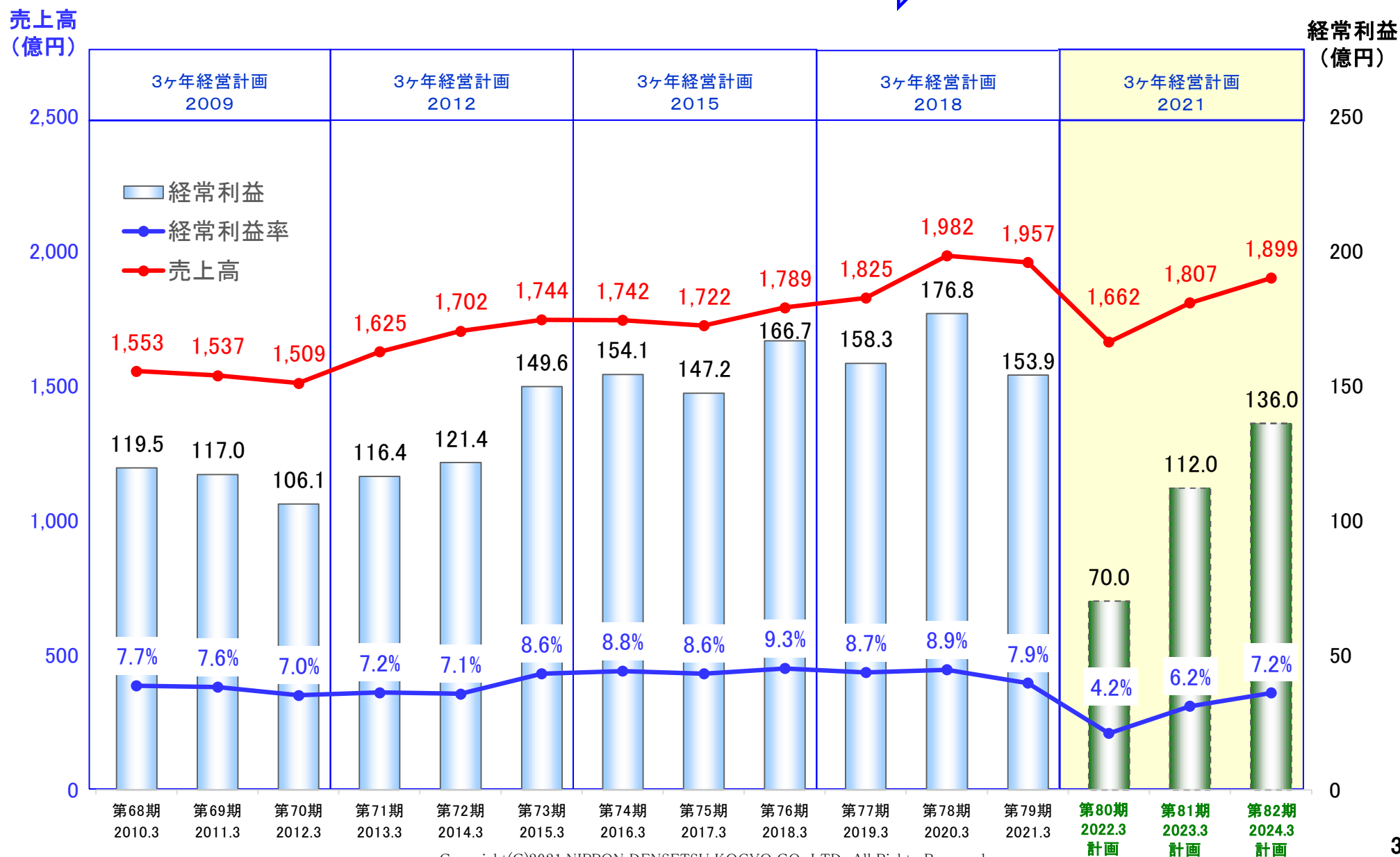
工事施工後、送電開始までの間に絶縁抵抗を測定するための記録表を設計図等から自動作成するプログラム



2024年3月期に向かってV字回復



持続的成長へ



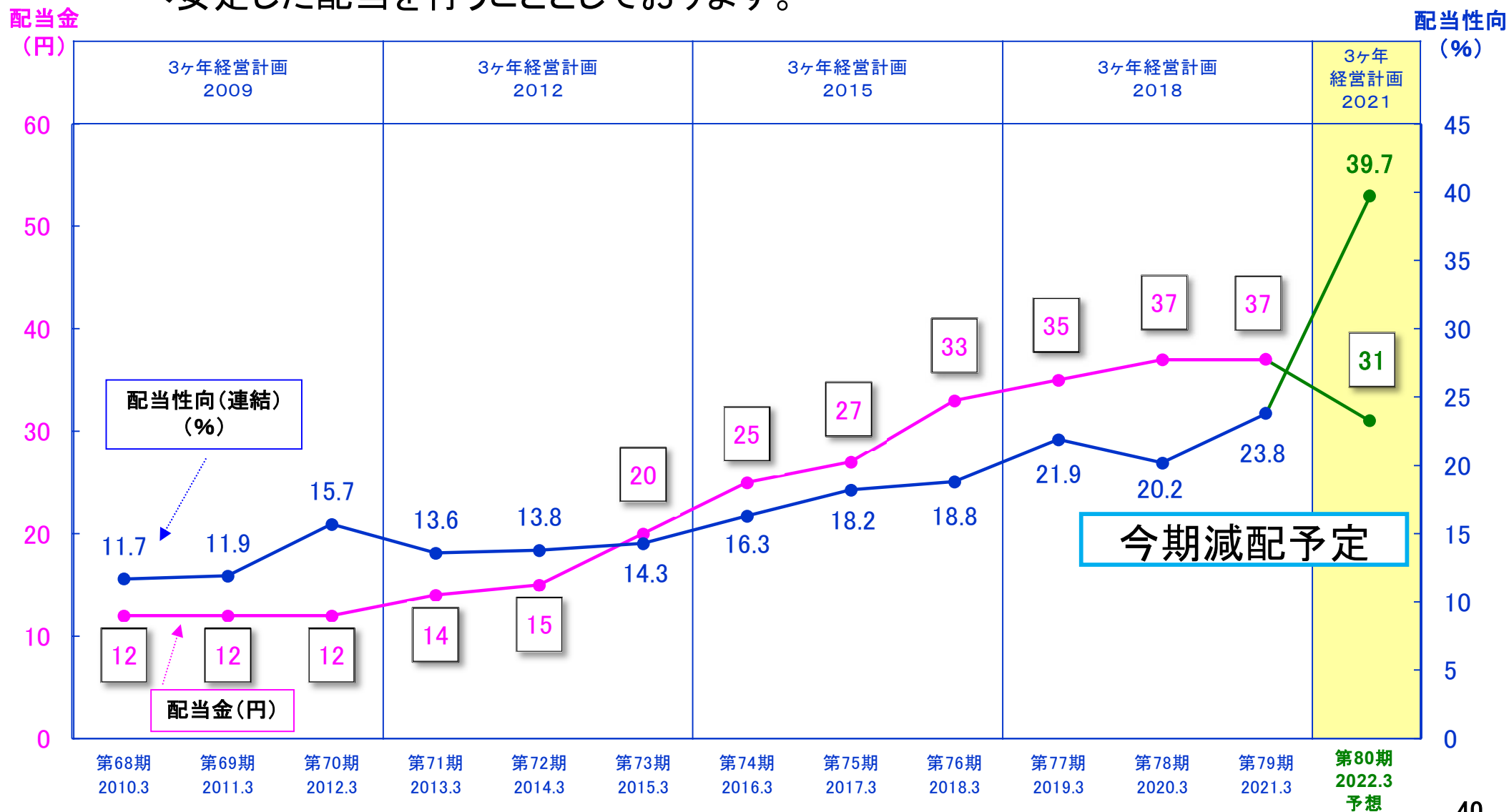
VI. 配当の推移



2022年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

●利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体質強化のための内部留保や配当性向にも配慮しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うこととしております。



●プライム市場を選択

新市場区分における「プライム市場」を選択し、東証に申請

当社グループは、これからも技術力と人間力を高めて、安全を最優先に「本物志向」の経営を続け、お客さまを始めとするすべてのステークホルダーの皆さまの期待にお応えすることで、持続的発展を目指してまいります。



本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <https://www.densetsuko.co.jp/>

日本電設 3ヶ年経営計画 2021

2021年度（第80期） ～ 2023年度（第82期）



ニューノーマルに挑む 変革



2021年5月31日



NDKグループ

日本電設工業株式会社

ニューノーマル時代を見据えて

新型コロナウイルス感染症の拡大は企業の事業環境を一変させ、今後の日本経済においては企業業績の二極化が進む見通しであり、社会構造変化への対応が新たな課題となる。中でも「脱炭素社会の実現」「デジタル化の加速」という大きな流れに適応することが求められている。

以上により当社においては以下の施策に取り組む。

1. DXによる競争優位性の確立

リアルとデジタル技術との最適な組み合わせによる業務改革、ペーパーレス化による生産性向上、ゼロカーボン等への貢献

2. 社員満足度の向上

マネジメント力、コミュニケーション力の強化育成、ワークライフバランスの実現、エンゲージメントの向上

3. 今後成長が期待される事業

ゼロカーボンへ向けた環境エネルギー事業への参画、DXの加速によるデータ通信量の増大を見据えたインフラ整備、移動体通信技術に伴う建設工事、EC拡大による物流倉庫等増設

4. 働き方改革および人事諸施策の推進

働き方の多様化、働き方に適した労務管理、ジョブ型雇用

経営目標

新たな変革の時代に対して、新しい常識や常態への対応および古い価値観の打破に挑戦するとの決意のもと、副題を「ニューノーマルに挑む 変革」とした。

既存事業にさらに磨きをかけるとともに、今後成長が期待できる分野を見極め新たな事業の創造を加速させ、2024年3月期に向かってV字回復を必達目標としている。

コロナ禍後の経営環境の変化を見据え、部門ごとに戦略を立て、その戦略をもとに施策計画を策定した。

当社を取り巻く経営環境について

【鉄道電気】

各鉄道事業者の収益悪化により、受注への影響は近年にはない厳しい状況

【一般電気】

官公庁工事は順調な一方、民間工事の受注環境が好転するのは2022年度以降になると想定

脱炭素社会の実現に向けた環境・エネルギーへの投資に期待

【情報通信】

5GやDX(デジタルトランスフォーメーション)によるデジタル化への投資に期待

重点実施テーマ

当社は安全な施工と高品質な成果物の提供によって、お客さまからの信頼と期待にお応えできる企業として成長してきた。将来にわたりそれを確固たるものにするためには社員一人ひとりが仕事に誇りを持ち、喜びや働きがいを感じ成長を実感できる会社となる必要がある。

この実現に向けて、以下の4項目を重点実施テーマとした。

1. 安全・品質とコンプライアンス

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、コンプライアンスの徹底によりお客さまからの信頼をより高める。

2. 自ら考え行動する社員の育成

社員一人ひとりが気づき力を磨き、自立的に業務に取り組める人材の育成に注力する。

3. 人と組織の連携で新たな価値創造

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めたNDKのチーム力を高め、新たな価値を創造する。

4. 働きがいを実感できる職場づくり

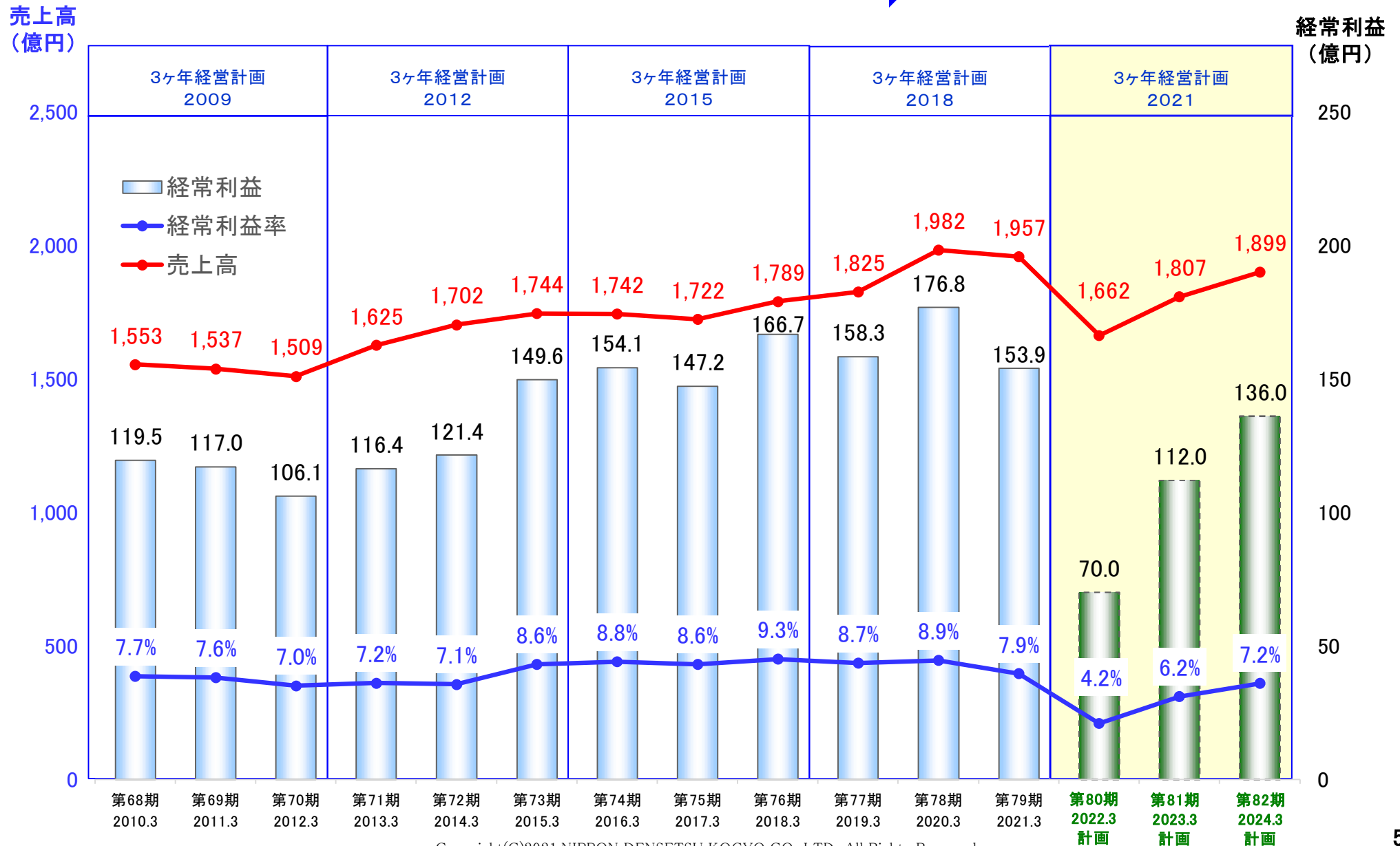
社員一人ひとりが働き易さと働きがいを実感できる職場づくりを目指す。

数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画
受 注 高	190,660	166,400	172,000	180,000
売 上 高	195,695	166,200	180,700	189,900
営 業 利 益	14,188	5,900	10,100	12,400
経 常 利 益	15,390	7,000	11,200	13,600
営業利益率	7.3%	3.5%	5.6%	6.5%
経常利益率	7.9%	4.2%	6.2%	7.2%

2024年3月期に向かってV字回復 ➡ 持続的成長へ



鉄道戦略

コロナ禍によって事業環境が大きく変化する中で、各鉄道事業者から求められる使命を着実に果たすことによりさらなる信頼関係を維持し、新たな業種への参入や新規顧客開拓により受注拡大を目指す。

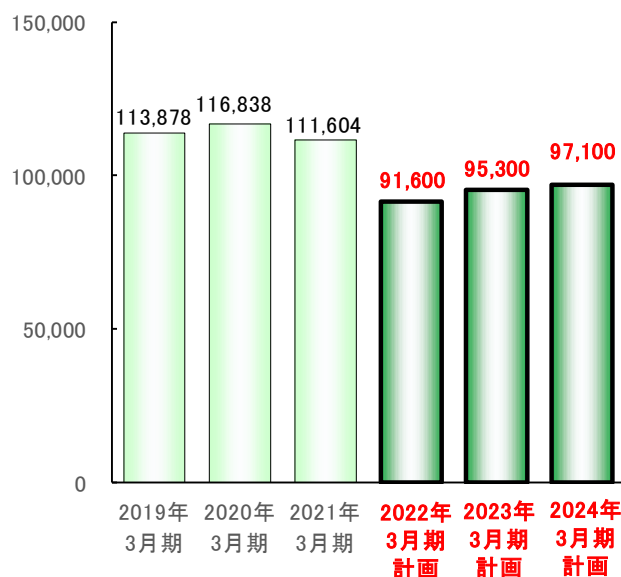
協力会社における若手技能者の確保や、人材育成強化による技術力の底上げにより持続的成長に向けた施工体制の強化を図るとともに、新たな機力施工の早期実現等、現場ニーズに即した技術開発の推進と生産性向上を進める。

1. JRグループからの確実な受注確保
2. 公民鉄部門のさらなる受注拡大
3. 施工体制強化
4. 人材育成の強化によるさらなる技術力向上
5. 働き方改革の推進と生産性向上

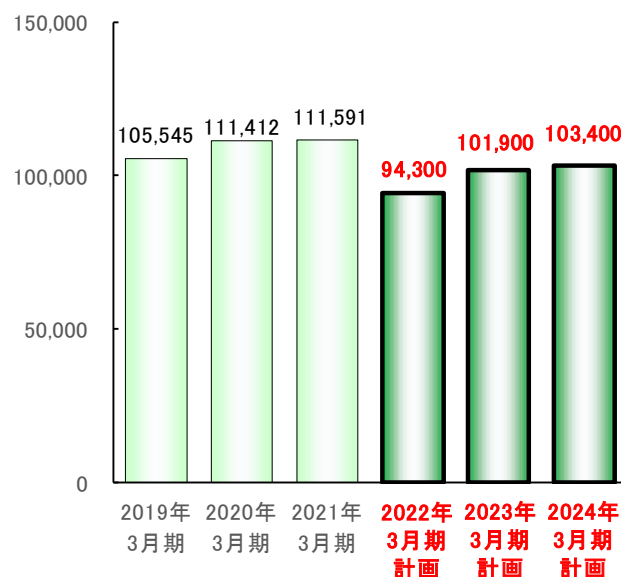
鉄道電気工事 数値計画

(単位:百万円)

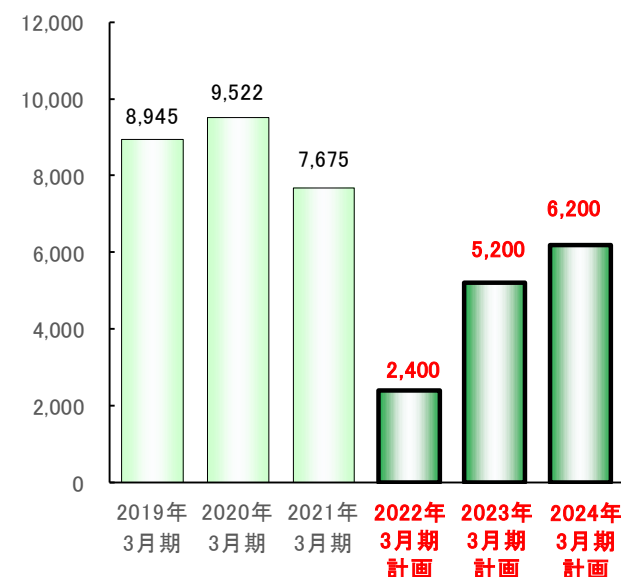
受注高



売上高



営業利益



■計画のポイント

- ・受注高、売上高は各鉄道事業者の工事抑制および東京オリンピック・パラリンピック関連工事の収束を見込む一方、新型コロナウイルス感染症の収束による各鉄道事業者の業績回復を見込む。
- ・営業利益は売上高の減少、連結子会社を含む工事採算性の低下および施工体制維持・強化のための原価を見込む一方、戦略の実行によりV字回復を目指す。

一般電気戦略

受注の「量」に加え、利益・将来性・協力会社の強化・人材育成・働き方改革を総合的に考えた受注の「質」を高めた戦略的な提案営業を強化し、「量→質」への変革を図る。

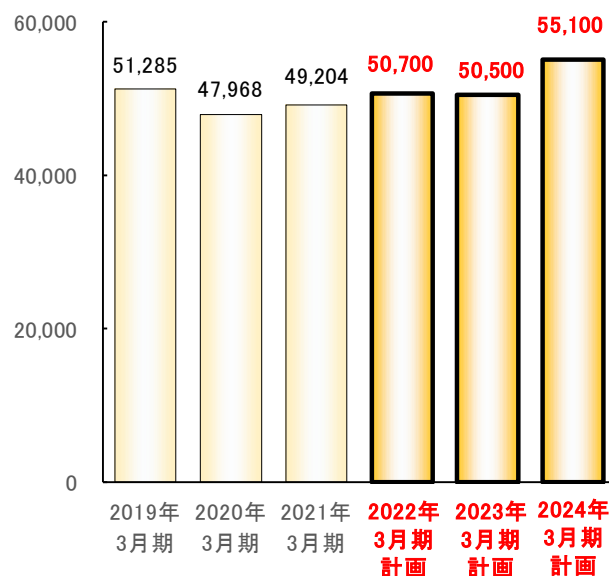
100%子会社の規模拡大と常連協力会社とのさらなる関係強化を目指すとともに、生産性向上に向けてICTの活用と現場のニーズに即した技術開発を推進する。

1. 「量→質」へ変革する戦略的受注獲得
2. 全国組織を活かした体制の強化
3. 全国的环境・エネルギー分野の強化
4. 協力会社の体制強化
5. 人材育成強化によるさらなる技術力向上
6. 働き方改革の推進と生産性向上

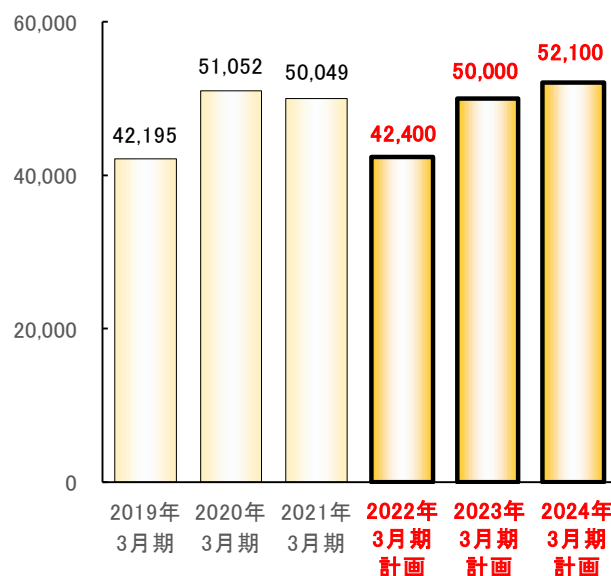
一般電気工事 数値計画

(単位: 百万円)

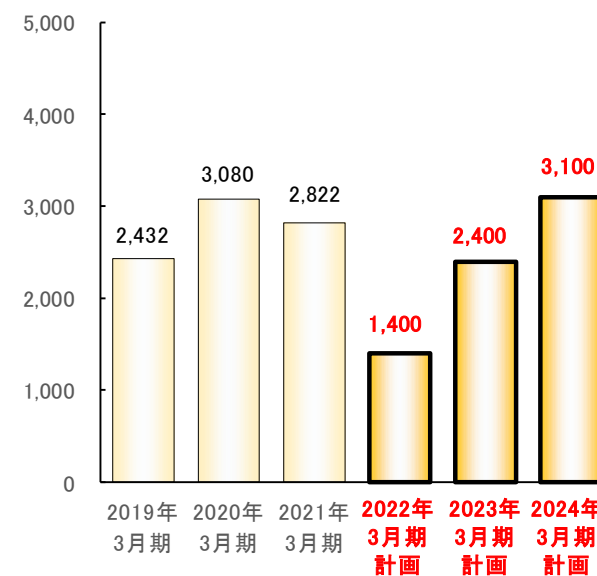
受注高



売上高



営業利益



■計画のポイント

- 受注高、売上高は成長投資案件等への積極的な営業展開による受注獲得、新型コロナウイルス感染症の収束による民間企業の業績回復を見込む。
なお、2022年3月期の売上高は竣工物件が少ない端境期にあたり減少。
- 営業利益は売上高の減少および価格競争等による工事採算性の低下を見込む
一方、戦略の実行によりV字回復を目指す。

情報通信戦略

携帯事業者等による5Gへの積極的な設備投資や各企業のDX推進による新たな設備投資が見込まれることから、全国で対応できる施工体制を構築・強化することにより、継続的・安定的な受注を目指す。

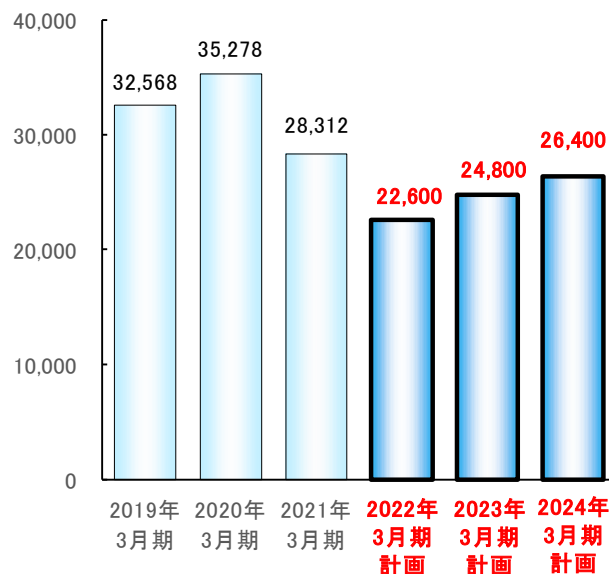
顧客から信頼を得る提案営業を行うため、最新技術などに対応した社員の技術レベル向上に取り組むとともに、ICT活用の深度化や技術開発により生産性向上を進める。

1. 全国情報通信工事の新たな組織体系構築
2. 全国のモバイル工事の受注確保
3. 全国のネットワーク工事の受注拡大
4. 人材育成強化による技術レベルの向上
5. 働き方改革の推進と生産性向上

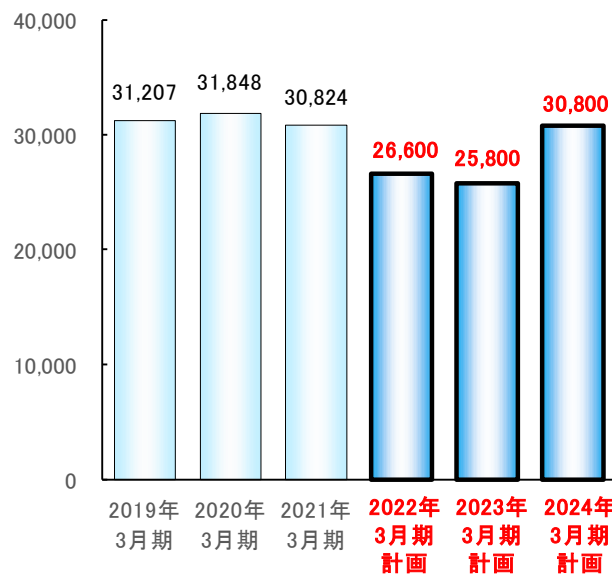
情報通信工事 数値計画

(単位: 百万円)

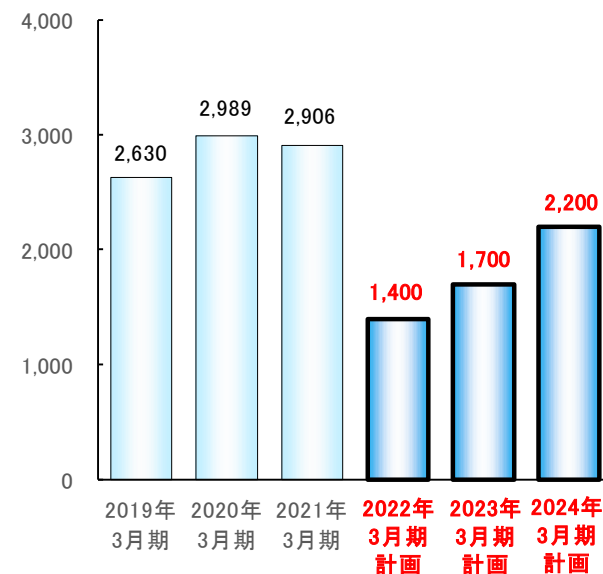
受注高



売上高



営業利益



■計画のポイント

- 受注高、売上高は東京オリンピック・パラリンピック関連工事の収束および得意先の工事抑制を見込む一方、新型コロナウイルス感染症の収束による民間企業の業績回復を見込む。
- 営業利益は売上高の減少、連結子会社を含む工事採算性の低下および施工体制維持・強化のための原価を見込む一方、戦略の実行によりV字回復を目指す。

その他(関連事業)戦略

保有不動産を活用した賃貸事業は、新規の不動産収益物件取得等への投資や、収益性の低い所有不動産から収益性の高い事業への再投資により収益拡大を目指す。

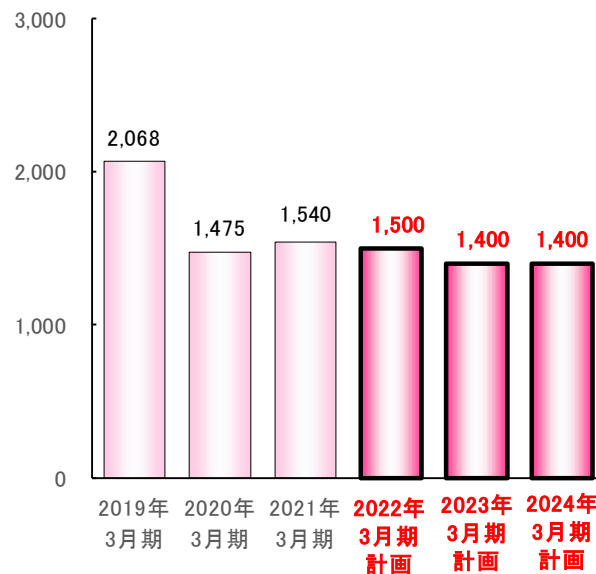
NDK総合サービス(株)の関連事業部門は、グループ外取引の拡大、電気保安事業の体制強化により連結収益拡大を目指す。

1. 関連事業本部の事業収益拡大
2. NDK総合サービス(株)の連結収益拡大
3. 中長期不動産戦略の推進

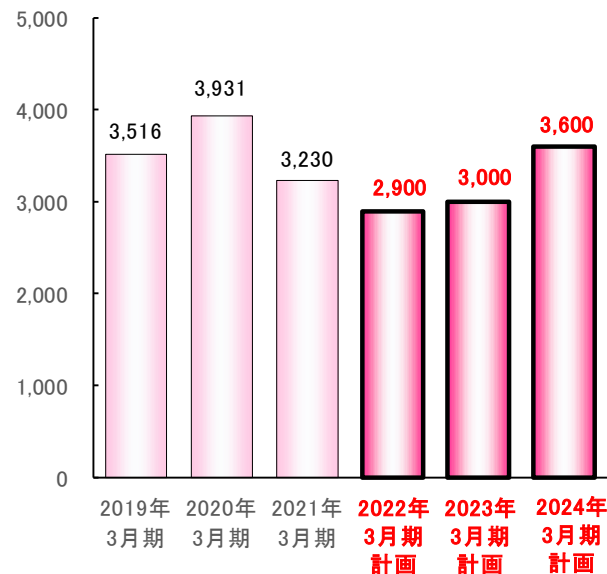
その他(関連事業) 数値計画

(単位: 百万円)

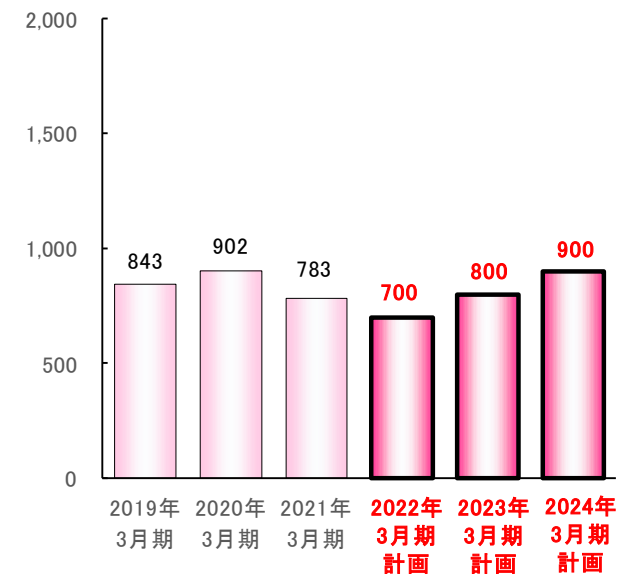
受注高



売上高



営業利益



■計画のポイント

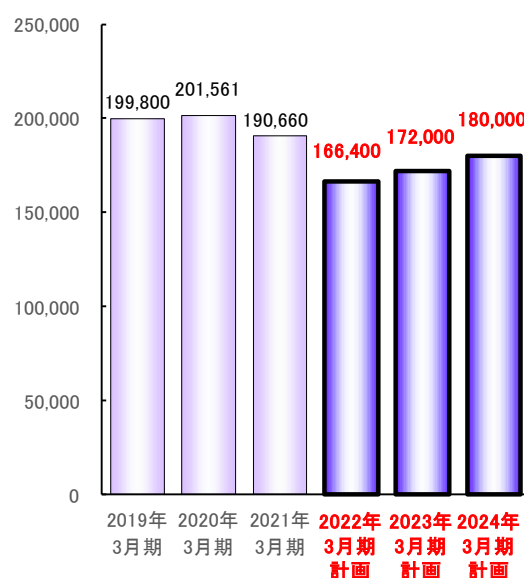
- ・売上高、営業利益は不動産の収益性改善とグループ外取引の拡大を見込む。

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
 ※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

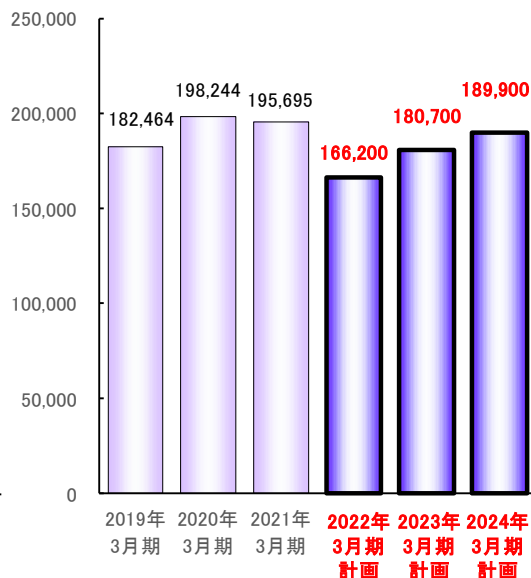
ニューノーマルに適応すべく変革を加速させ、 2024年3月期に向けV字回復が必達目標

(単位:百万円)

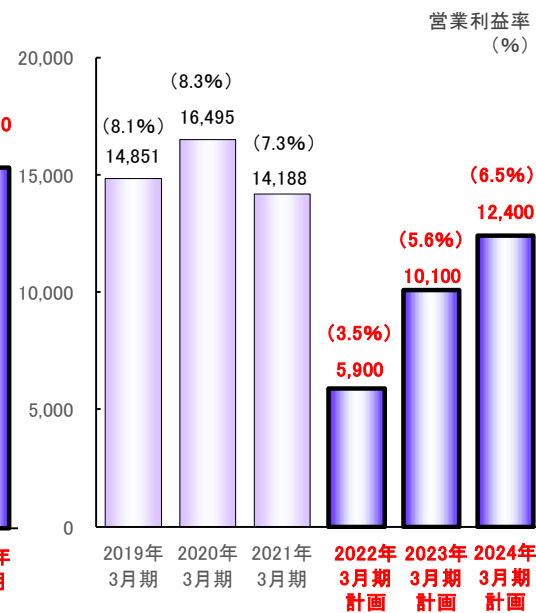
受注高



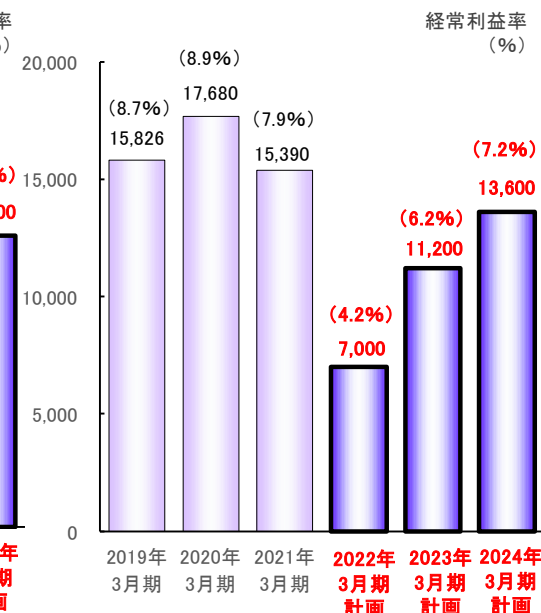
売上高



営業利益



経常利益



	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
受注高	166,400	172,000	180,000
売上高	166,200	180,700	189,900
営業利益	5,900	10,100	12,400
経常利益	7,000	11,200	13,600

主な取り組み施策

◇安全は会社経営上の最重要課題

- ◇安全の原点への立ち返り
 - ・安全文化の構築
 - ・安全かつ着実な施工管理の実施
 - ・安全マネジメントの推進
 - ・安全レベルの向上
- ◇リスク管理型安全マネジメントの推進

安全の原点への立ち返り

安全文化の創造

私たちは
命を大切にします

私たちは
技術を磨きます

私たちは
健康で明るい**職場**
明るい**家庭**を築きます

安全文化の創造は「人命の尊さ」「人を大切にする心」を全ての発想の根源として行動する社風を創っていく取り組みです。

安全推進ポスター



NDK安全文化創造館



VRによる安全教育

◇技術力・技能の向上、施工体制強化

- ◇社員・協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員育成と資格取得支援
- ◇技術力の底上げと弱点補強強化
- ◇ICTを活用したオンライン教育



中央学園(千葉県柏市)



電車線実習
(軌陸車を150台保有)



資格取得教育

◇ZEB化事業の推進



◇ZEBプランナー登録

(2018年2月)

◇ZEBリーディング・オーナー登録

(2020年1月)

◇環境エネルギー本部を発足

(2020年9月)

一般電気工事分野、環境設備分野および創エネルギー分野において、ZEB等で培った総合技術を活かすなど営業の裾野を広げ、更なる受注拡大を図る

◇ZEBの提案営業を推進

道後温泉 ホテル古湧園 遥(ZEB Ready)

2019年10月完成

◇ZEB対応の自社ビル等

NDK千葉ビル(Nearly ZEB)

2019年11月完成

TEMS小牛田SC(Nearly ZEB)

2020年3月完成

NDK新潟ビル(Nearly ZEB)

2021年2月完成

TEMS新青森事務所(ZEB Ready)

2021年3月完成

NDK秋田ビル(ZEB Ready)

2021年4月完成

NDK仙台東ビル(ZEB)

2021年11月完成予定

100%ZEBを達成したうえで先進的設備を導入した建物を建設中



道後温泉 ホテル古湧園 遥
新築ZEB化事業工事



NDK千葉ビル



TEMS小牛田SC (施工のみ)



NDK新潟ビル



TEMS新青森事務所



NDK秋田ビル



NDK仙台東ビル

※『ZEB』(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、またはマイナスの建築物

Nearly ZEB: 75%以上省エネの建築物

ZEB Ready: 50%以上省エネの建築物

◇働き方改革

◇生産性向上の取り組み

- ・タブレット端末の活用(図面共有・テレビ会議等)
- ・クラウド共有ファイルサーバの導入
- ・沿線画像表示装置による現地調査の省力化
- ・技術開発による施工の効率化
- ・通年ノーネクタイ・ビジネスカジュアルの導入
(2021年4月1日より)、事務所のフリーアドレス化

・RPAの導入

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。

◇女性活躍推進

- ・課題解決のための思考力・討議力を向上させる
哲学シンキングの実施

◇長時間労働是正・人事諸制度改正

- ・時間外労働の上限規制順守を2022年3月期に
前倒しで実施
- ・多様な働き方の実現に向けた制度の制定



生産性向上に向けた
「10のフィルタ」による推進



事務所のフリーアドレス化
(イメージ図)



タブレット端末を活用した図面共有



技術開発による施工の効率化
(架空送電工事用ロボットの開発)



RPA講習会



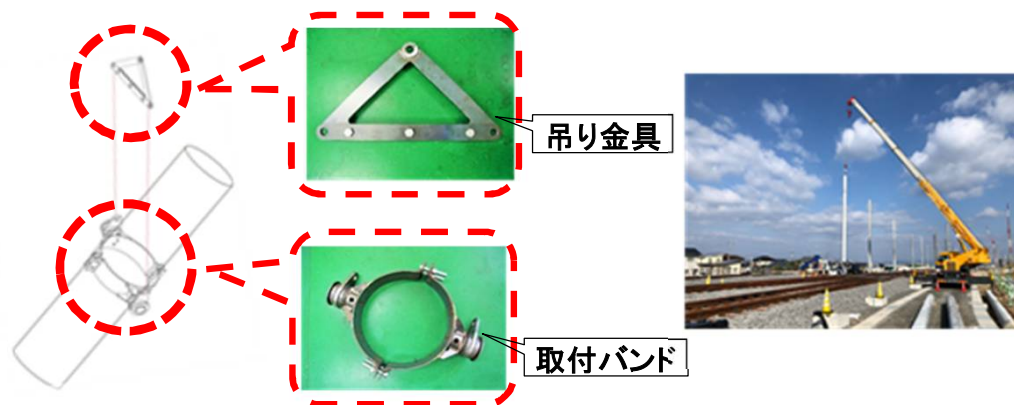
哲学シンキングの実施

◇技術開発

令和3年度 科学技術分野の
文部科学大臣表彰受賞
(創意工夫功労者賞)

【電柱建植用金具の考案】

電柱建植を安全・確実に行えるよう、吊り金具と取付バンドを考案した。これにより、柱を安定な状態で吊り上げることができる。



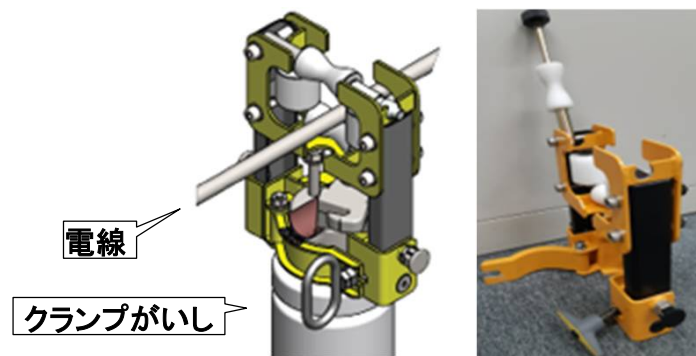
【アンカーボルトガイドキャップの開発】 意匠登録済

鋼管柱を据え付ける際、座板に開いた穴とアンカーボルトとの位置合わせに苦労していたため、アンカーボルトに被せるキャップを開発し、安全・円滑に作業を行えるようになった。



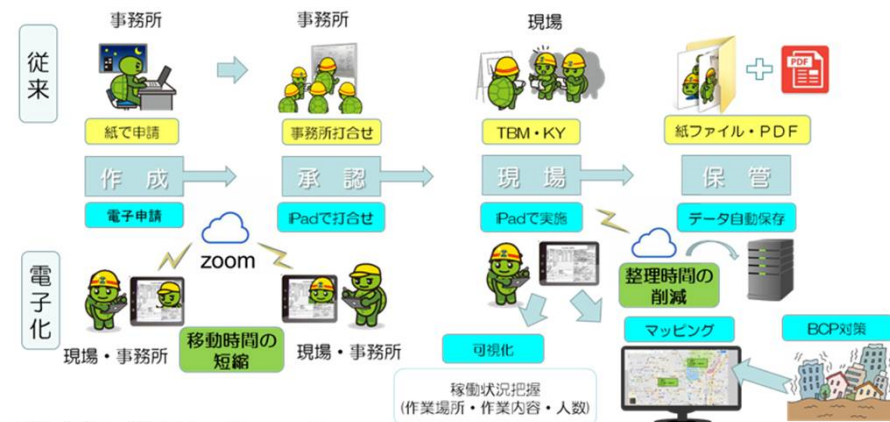
【クランプがいし用金車の改良】 特許出願中

鉄道の高圧配電線張替え工事の施工性を向上させるために、電線をクランプがいしに簡単に移し替えができる金具を開発した。今後、工事で活用していく。



【NDK工事管理支援システムの開発】

作業計画や現場管理等の業務を場所や時間を問わず実施できる工事管理システムを開発し、データの共有や稼働状態の可視化を実現した。



ニューノーマルに挑む 変革

「安全・品質とコンプライアンス」

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、
コンプライアンスの徹底によりお客さまからの信頼をより高めます。

「人と組織の連携で新たな価値創造」

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めた
NDKのチーム力を高め、新たな価値を創造します。

「自ら考え行動する社員の育成」

社員一人ひとりが気づき力を磨き、
自立的に業務に取り組める人材の育成に注力します。

「働きがいを実感できる職場づくり」

社員一人ひとりが働き易さと働きがいを
実感できる職場づくりを目指します。

日本電設 3ヶ年経営計画 2021



NDKグループ

日本電設工業グループ

Copyright(C)2021 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved

本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <https://www.densetsuko.co.jp/>